

令和 5 年 度

事業報告書
決算報告書

公益財団法人 広島市みどり生きもの協会

目 次

第1 事業報告書

1	設立目的及び概況	1
2	役員等の状況	2
3	理事会等の開催	4
4	定款の変更	4
5	職員の状況	5
6	事業の実施状況	6
7	事業報告の附属明細書	6 3

第2 決算報告書

1	貸借対照表	6 4
2	貸借対照表内訳表	6 6
3	正味財産増減計算書	6 7
4	正味財産増減計算書内訳表	7 1
5	財務諸表に対する注記	7 5
6	附属明細書	7 7
7	財産目録	7 8

事業報告書

第1 事業報告書

令和5年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会事業報告書 (令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

1 設立目的及び概況

(1) 設立目的

緑のまちづくりの事業及び公園に関する事業を通して、ゆとりとやすらぎのある緑豊かな都市環境の形成及び市民の心身の健全な発達を図るとともに、生物多様性の保全に貢献し、もって公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。

(2) 概況

ア 設立年月日

昭和51年10月1日 財団法人広島市公園協会として設立

平成11年 4月1日 財団法人広島市動物園協会と統合

平成24年 4月1日 公益財団法人へ移行し、公益財団法人広島市みどり生きもの協会に名称変更

イ 基本財産

設立当初、基本財産は1,000万円（全額広島市出資）であったが、平成11年4月1日財団法人広島市動物園協会との統合に伴い、同財団から1,200万円を寄附受領し、また、広島市から9,000万円の追加出資があったことにより、現在の基本財産は、1億1,200万円（うち広島市出資1億円）である。

ウ 実施事業

- (ア) 緑化思想の普及啓発、民有地の緑化等緑のまちづくりの推進
- (イ) 広島市が設置する公園及び公園施設の管理運営及び利用の促進
- (ウ) 広島市が設置する動物公園、植物公園及び昆虫館の管理運営及び利用の促進
- (エ) 生きものに関する調査研究、教育及び普及啓発
- (オ) 前各号に関する附帯事業の運営
- (カ) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 役員等の状況

(1) 役員等の人数

理 事 長	1 人
専務理事	1 人
常務理事	1 人
理 事	11 人
監 事	2 人
評 議 員	12 人

(2) 理事・監事

ア 事業年度中の理事・監事の異動は、次のとおりである。

異動年月日	役職	氏 名	異動内容
令和5年4月1日	専務理事	三木 登士也	就任
	常務理事	阿部 勝彦	就任
	監事	田口 依久夫	就任
令和5年6月15日	理事長	堀 敬輔	重任
	専務理事	三木 登士也	重任
	理事	金子 和泰	重任
	理事	川野 悦生	就任
	理事	久保田 祐徳	重任
	理事	高橋 博	重任
	理事	竹下 俊治	重任
	理事	中越 信和	重任
	理事	中原 裕子	退任
	理事	松本 幸雄	退任
	理事	宮崎 智三	重任
	理事	山口 富美夫	重任
	理事	山口 祐	重任
	理事	山田 豊子	就任
	理事	渡邊 一雄	重任
	監事	神田 敏治	重任
令和6年3月31日	理事長	堀 敬輔	辞任
	専務理事	三木 登士也	辞任

イ 令和6年3月31日現在の理事・監事は、次のとおりである。

役職	氏 名	就任年月日
理事長	堀 敬輔	令和4年6月13日
専務理事	三木 登士也	令和5年4月1日
常務理事	阿部 勝彦	令和5年4月1日
理事	金子 和泰	平成31年3月28日

役職	氏 名	就任年月日
理事	川野 悦生	令和5年6月15日
理事	久保田 祐徳	令和3年4月1日
理事	高橋 博	令和2年9月1日
理事	竹下 俊治	令和元年6月12日
理事	中越 信和	平成17年7月1日
理事	宮崎 智三	平成29年3月28日
理事	山口 富美夫	令和元年6月12日
理事	山口 祐	令和5年3月28日
理事	山田 豊子	令和5年6月15日
理事	渡邊 一雄	平成17年7月1日
監事	神田 敏治	平成19年7月1日
監事	田口 依久夫	令和5年4月1日

(3) 評議員

ア 事業年度中の評議員の異動はなし。

イ 令和6年3月31日現在の評議員は、次のとおりである。

役職	氏 名	就任年月日
評議員	大橋 啓一	平成28年6月9日
評議員	尾楠 美代子	平成26年3月27日
評議員	眞宅 成光	平成24年4月1日
評議員	田邊 朋子	平成29年6月14日
評議員	田村 慶一	令和3年6月14日
評議員	富川 久美子	平成28年6月9日
評議員	中島 昌子	平成24年4月1日
評議員	中坪 孝之	平成24年4月1日
評議員	福田 博	平成30年6月14日
評議員	藤井 敏男	平成24年4月1日
評議員	山岡 裕幸	平成29年6月14日
評議員	吉田 幸	平成30年6月14日

3 理事会等の開催

(1) 理事会

開催年月日	開催回数	付議事項	審議結果
令和5年4月1日 (決議の省略)	令和5年度 第1回	1 専務理事の選定の決議について 2 常務理事の選定の決議について	選定 選定
令和5年5月26日	令和5年度 第2回	1 令和4年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会事業報告及び決算報告について 2 理事長、専務理事及び常務理事の自己の職務の執行状況の報告について 3 令和4年度における職員の職務に係る倫理の保持に関する状況及び職員の職務に係る倫理の保持に関して講じた施策に関する報告について	承認 終了 終了
令和5年6月15日 (決議の省略)	令和5年度 第3回	1 理事長の選定の決議について 2 専務理事の選定の決議について	選定 選定
令和5年12月7日 (決議の省略)	令和5年度 第4回	1 特定費用準備資金の保有について	原案可決
令和6年2月24日 (決議の省略)	令和5年度 第5回	1 令和5年度第3回評議員会の招集について	原案可決
令和6年3月28日	令和5年度 第6回	1 令和6年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会事業計画及び収支予算について 2 令和6年度第1回評議員会の招集について 3 理事長、専務理事及び常務理事の自己の職務の執行状況の報告について	承認 原案可決 終了

(2) 評議員会

開催年月日	開催回数	付議事項	審議結果
令和5年4月1日 (決議の省略)	令和5年度 第1回	1 監事の選任の決議について	選任
令和5年6月15日	令和5年度 第2回	1 令和4年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会決算報告について 2 理事の選任の決議について 3 監事の選任の決議について 4 令和4年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会事業報告について	承認 選任 選任 終了
令和6年3月28日	令和5年度 第3回	1 理事の選任の決議について 2 特定費用準備資金の保有について	選任 終了

4 定款の変更

事業年度中の定款の変更はなし。

5 職員の状況

令和6年3月31日現在の職員の状況は、次のとおりである。

(単位：人)

区 分		事 務 職 員						技 術 職 員						技能業務職員	非常勤職員	合 計
		部長級	課長級	課長補佐級	係長級	主事	小計	部長級	課長級	課長補佐級	係長級	技師	小計			
緑化管理部	経営企画課		1	1	2	5	9					2	2	1		12
	昆虫館				1		1		1		2	4	7		1	9
動物公園	管 理 課		1	1	2	1	5			1		4	5	3	18	31
	飼育・展示課					1	1		2	4	8	16	30	2		33
植物公園	管 理 課		1	1	3	1	6	1		1	1	2	5	1	1	13
	栽培・展示課								1	1	1	8	11		6	17
合 計			3	3	8	8	22	1	4	7	12	36	60	7	26	115

6 事業の実施状況

次の事業を実施した。

(1) 公益目的事業

① 緑のまちづくり〔公1事業〕

緑化思想の普及、啓発を図るとともに、市民の自主的な緑化活動を促進し、市民の生活にゆとりと安らぎを与え、健やかで潤いのある緑豊かな住みよいまちづくりを進めるため、次のとおり事業を実施した。

ア 緑化思想の普及啓発

(ア) グリーンフェア



名 称	時 期	場 所	内 容	入場者数
春のグリーンフェア	6月10日 ～6月11日	HIROSHIMA GATE PARK PLAZA	広島市等と実行委員会を組織し、花と緑の交流サロン、各種ワークショップの開催などを行った。	19,000 人
秋のグリーンフェア	10月28日 ～11月5日	植物公園	広島市等と実行委員会を組織し、見どころめぐりクイズラリーや花と緑の講習会などを行った。	12,567 人

(イ) 広報普及



名 称	時 期	内 容	件 数
ホームページによる広報	通 年	ホームページにより、事業の紹介や催し物などの情報を提供した。	アクセス件数 112,572 件
マスコミによる広報	通 年	新聞社などを通じて、事業の紹介や催し物などの情報を提供した。	10 件

イ 民有地緑化の推進

(ア) 緑化講習会の開催



名 称	時 期	場 所	内 容	参加者数
初夏のハンギング バスケット作り	6月20日	中央公園 ファミリープール	インパチェンス、コリウスなどを使用した初夏らしいハンギングバスケット作りを実演指導した。	24 人
クリスマスにぴったりの 寄せ植え作り	11月17日	中央公園 ファミリープール	ガーデンシクラメン、ポインセチアなどを使用したクリスマスにぴったりの寄せ植え作りを実演指導した。	24 人
迎春用ハンギング バスケット作り	12月6日	中央公園 ファミリープール	ビオラ、ハボタンなどを使用したハンギングバスケット作りを実演指導した。	22 人

名 称	時 期	場 所	内 容	参加者数
春の息吹を感じる 寄せ植え作り	3月15日	中央公園 ファミリープール	ガーベラ、アリッサムなどを使用した寄せ植え作りを実演指導した。	27 人

(イ) 緑のカーテン設置補助金などの交付〔緑化基金事業〕



名 称	時 期	内 容	交付件数等	
			件数	金 額
緑のカーテン設置 補 助 金 の 交 付	4月1日 ～5月22日	緑のカーテンの設置に要した費用の一部を補助金として交付した。	67 件	405, 300 円
魅せる花づくり 補 助 金 の 交 付	5月1日 ～6月22日 9月1日 ～10月20日	民有地内で多くの人の目に触れる場所（道路に面した場所）において花づくりを行った費用の一部を補助金として交付した。	79 件	563, 500 円
記 念 樹 の 贈 呈	7月15日 ～8月31日	誕生、入学・卒業、成人、結婚など人生の記念の節目を迎えた者に記念樹（苗木）を贈呈した。	177 件	492, 200 円

(ウ) 緑化指導者の派遣〔緑化基金事業〕



名 称	時 期	内 容	参加者数等
緑化指導者の派遣	通 年	緑化に精通した専門の指導者を講習会に派遣し、草花の寄せ植え、育て方などを指導した。	開催回数 41 回 参加者数 631 人

(エ) 出版物の発行〔緑化基金事業〕



名 称	時 期	内 容	発行部数
ハ ン ド ブ ッ ク 「魅せる花、緑のカーテン つくりかたBOOK」	通 年	「緑のカーテン設置補助金」や「魅せる花づくり補助金」の利用促進を図り、広島市の推進する「花と緑の広島づくり」に協力するため、緑のカーテン、花壇等の作り方・楽しみ方をまとめたハンドブックを発行・配布した。	2, 500 部

ウ 貢献者の表彰〔みどり生きもの協会賞基金事業〕



広島すみどり生きもの協会賞基金の運用益等をもって、次のとおり広島すみどり生きもの協会奨励賞を贈呈した。

＜広島すみどり生きもの協会奨励賞＞

受 賞 者	対象区分	功 績 概 要
千足なかよしクラブ	実 務	「笑顔の街へさか」を発信基地として、常に元気・はつらつをモットーに明るいまちづくり邁進の理念のもと、戸坂千足公園の花壇を整備するとともに、花の植替え作業を継続して行い、市民に潤いと安らぎの場を与えるなど、広島市の緑化推進事業の発展振興に多大な貢献をした。

② 動物公園の管理運営〔公2事業〕

広島市から指定管理者として指定（指定期間：令和4年4月1日～令和9年3月31日）を受けた広島市安佐動物公園における動物の飼育・展示、収集及び飼育管理、入園料の収受、施設の維持管理などを行い、入園者が施設を安全かつ快適に利用できるよう努めた。

令和5年5月から新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」になり、自粛していたイベントを再開した。大雨による避難指示発令により、7月9日の13時以降及び10日を臨時休園とした。

また、他団体との連携や調査・研究の成果を生かして、生息域内保全と生息域外保全の両面から生物多様性の保全に貢献するとともに、社会教育への協力、学校教育活動の受入れやコンクールその他催し物の開催など各種事業を実施し、動物に関する知識及び動物愛護思想の普及、かん養並びに動物愛好者の育成を図った。

ア 動物の飼育・展示など

(ア) 動物の飼育・展示



〔展示場所等〕 主な展示動物		内 容
〔エントランスゾーン〕	ア ヌ ビ ス ヒ ヒ	身体能力の高いアヌビスヒヒを群れで展示した。また、群れの中での社会性が観察できるよう、職員が開園時間中に餌やりを行った。
	フ ラ ミ ン ゴ	拡張したフラミンゴの展示エリアに、コフラミンゴとオオフラミンゴを分けて展示し、両方の展示場に産卵場を作るなど繁殖に向けての整備を行った。
〔アフリカゾーンⅠ〕	サ バ ン ナ ゾ ウ	隣接した場所で、マルミミゾウとの違いが分かる展示と解説を行った。現在、雄1頭の展示を続けている。
	マ ル ミ ミ ゾ ウ	雄個体1頭を、雌の発情周期に合わせて同居をするなど国内初の繁殖に向けて取組みを行った。また、マルミミゾウの希少性、能力や飼育技術について解説した。

〔展示場所等〕 主な展示動物		内 容
〔アフリカゾーンⅠ〕	ア ミ メ キ リ ン	第1期再整備工事が始まり放飼場を一時的に縮小したが、健康維持に留意しながら、雌雄別々の展示を行った。また、生態等について解説した。 【再整備計画】 新アミメキリン舎建設工事建屋完成（令和4年度から継続）
	グラントシマウマ	第1期再整備工事が始まり放飼場を一時的に縮小したが、健康維持に留意しながら、雌雄別々の展示を行った。また、生態等について解説した。 【再整備計画】 新シマウマ舎建設工事建屋完成（令和4年度から継続）
〔アフリカゾーンⅡ〕	チ ー タ ー	敏捷で迫力ある動きをガラス越しに観察できる展示を行い、引き続き繁殖を目指した。
	ク ロ サ イ	間近まで寄ってくる迫力ある展示、生態等についての解説を行った。血統問題等を含め、将来に渡り安定的に展示を続けるため、海外からの雄の導入を目指した。
	ミーアキャット	穴掘りの様子や日光を浴びて立つ姿を観察できる群れ展示を行った。
〔サルのかなま〕	チ ン パ ン ジ ー	群れ展示を引き続き行うとともに、放飼場内部に設置した立体的な構造のタワーを生かし、身体能力や知能の高さが学べる展示を行った。
	マ ン ド リ ル	群れ展示を引き続き行い展示の充実を図った。また、「動物解説」などでヒトとの能力や行動の違いについて解説した。
〔ピーちくパーク〕	ポ ニ ー	新型コロナウイルス感染防止対策のため、乗馬体験を中断していたが、5月から再開した。動物愛護思想の涵養を図るため、動物の温もりを体感できる乗馬体験を行った。
	〔わくわく広場〕 ヤギ、ヒツジ、 ミ ニ ブ タなど	新型コロナウイルス感染防止対策のため、ふれあい体験を中断していたが、5月から再開した。動物愛護思想の涵養を図るため、家畜と自由にふれあえる広場を提供しふれあい体験を行った。
	〔ふれあいスペース〕 テンジクネズミ、 カ イ ウ サ ギ	新型コロナウイルス感染防止対策のため、ふれあい体験を中断していたが、5月から再開した。動物愛護思想の涵養を図るため、動物の温もりを体感できるふれあい体験を行った。
	〔インコの森〕 大 型 イ ン コ 類	色鮮やかなヒワコンゴウインコ、ルリコンゴウインコ、コンゴウインコなどの大型インコ類の飼育・展示を行い、コンゴウインコにおいては繁殖を目指した。冬季には全国的な鳥インフルエンザの流行のため、展示を中止した。
	〔ことりの家〕 キンカチョウ、ギニア アエボシドリ、クジ ャ ク バ ト な ど	多種の鳥類の繁殖を目指し、展示の充実を図った。冬季には全国的な鳥インフルエンザの流行のため、建物外側から観賞できる展示を行った。

〔展示場所等〕 主な展示動物		内 容
〔ピーチくパーク〕	〔子育ての家〕 オオサンショウウオ、 ヒヨコ、ハツカネズミ	オオサンショウウオの幼生・幼体・成体の展示のほか、ヒヨコなどの誕生と成長の過程が観察できる展示を行った。
	フンボルトペンギン	二つのペアによる繁殖を目指し、繁殖技術の向上と群れ展示の充実を図った。
〔はちゅう類館〕	〔1階〕 スローロリス、 コウモリ類など	照明を夜間は明るく昼間は暗く調整して、夜行性動物が活発に動き回る姿を観察できる展示を行った。
	〔2階〕 ニシアフリカコビトワニ、 ヘビなど	子どもに人気のあるワニやヘビなどの爬虫類のほか、特別天然記念物のオオサンショウウオを屋内展示した。
〔リクガメ広場〕	リクガメ類	ホウシャガメのほか、インドホシガメ、ケヅメリクガメ、アルダブラゾウガメなど、大小様々なリクガメ類の展示を行った。
〔アジアの草食動物〕	マレーバク	多雨林の環境で生息するマレーバクを展示し、生態や野生における現状について解説した。また、繁殖に向けて雌の導入を目指した。
	ブラックバック	半砂漠や乾燥した落葉樹林などに生息するブラックバックを展示した。順調に繁殖し群れ展示を引き続き行った。
〔日本の動物〕	ホンドギツネ	身近な動物について学ぶため、広島県内に生息するキツネを展示した。引き続き繁殖を目指し、展示の充実を図った。
	ツキノワグマ	自然と人間の関わりを考えるため、広島県内に生息し当園周辺でもたびたび目撃され身近な動物であるツキノワグマを展示した。
〔大鳥舎〕	サカツラガン、 オシドリなど	生息地である湿地や森林の河川に似せた環境で展示を行うとともに、導入や繁殖に取り組み、展示の充実を図った。冬季には全国的な鳥インフルエンザの流行のため、通り抜けを中止した。

〔展示場所等〕 主な展示動物		内 容
〔西園〕	ユーラシアカワウソ	国内で唯一当園のみが飼育している中国系の繁殖に取り組むとともに、将来の安定的な展示に向けて導入したヨーロッパ系の個体を展示した。世界に広く分布する系統の異なる個体を展示し、生態や現状について普及を図った。
	レッサーパンダ	令和3年度に繁殖した子ども2頭が順調に成長したため、次の繁殖に向け他園への移動を検討した。また、「飼育係が動物解説」などで生態等について解説を行った。
	シ フ ゾ ウ	野生下における絶滅後、動物園での飼育下において種の保存が行われてきた象徴的な動物、希少な動物であることなどについて、解説等による情報発信を積極的に行った。
	ニホンカモシカ	令和3年度に導入した雌との新たなペアにより、引き続き繁殖に取り組み、展示の充実を図った。
〔肉食動物ゾーン〕	ラ イ オ ン	強化ガラス（レオガラス）の前で餌やりを行うことなどにより、迫力や威圧感が伝わる展示を行うとともに、生態等について解説を行った。また、「レオガラスお食事タイム」をSDGsにつながる屠体給餌を含む内容として行った。
	ア ム ール ト ラ	強化ガラス（パンセラビュー）により、迫力や威圧感が伝わる展示を行った。平成30年度に導入した雄による繁殖を目指し、展示の充実を図った。
	ア ム ール ヒ ヨ ウ	強化ガラス（パンセラビュー）により、迫力や威圧感が伝わる展示を行った。国内最高齢の雌の健康状態に配慮した展示を行うとともに、新たな繁殖可能な個体の導入を目指した。

【動物の飼育展示数】

（令和6年3月31日現在）

区 分	種 類	点 数
哺乳類	58 種	547 点
鳥 類	37 種	576 点
爬虫類	33 種	239 点
両生類	4 種	355 点
魚 類	9 種	—
合 計	141 種	1,717 点

(イ) 動物の収集及び飼育管理



名 称	内 容																												
展示動物の維持及び種の保存	血統や余剰動物の管理を適切に行い、計画的な繁殖、ブリーディングローンなどにより、展示動物を適正に維持するとともに、保護が必要な動物を飼育し、種の保存を図った。																												
飼 育 下 繁 殖	絶滅危惧種や希少種とされている野生動物の繁殖を飼育下で行った。 【繁殖に成功した動物の一覧】 スローロリス、アヌビスヒヒ、オオフラミンゴ、ブラッザゲノンなど																												
ブリーディングローン	所有権を移転することなく、他園と動物の貸出しや借入れを行うことで、効率的かつ効果的に繁殖を行った。 (単位：頭) <table><tr><td colspan="2"></td><td>哺乳類</td><td>鳥類</td><td>爬虫類</td><td>合計</td></tr><tr><td rowspan="2">5 年度 新規</td><td>借入</td><td>1</td><td>0</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>貸出</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td rowspan="2">全体</td><td>借入</td><td>19</td><td>5</td><td>3</td><td>27</td></tr><tr><td>貸出</td><td>45</td><td>19</td><td>0</td><td>64</td></tr></table> 5 年度借入：アムールヒョウ（神戸市立王子動物園）、アルマジロトカゲ（高知県立のいち動物公園） 5 年度貸出：レッサーパンダ（長崎バイオパーク）			哺乳類	鳥類	爬虫類	合計	5 年度 新規	借入	1	0	2	3	貸出	1	0	0	1	全体	借入	19	5	3	27	貸出	45	19	0	64
		哺乳類	鳥類	爬虫類	合計																								
5 年度 新規	借入	1	0	2	3																								
	貸出	1	0	0	1																								
全体	借入	19	5	3	27																								
	貸出	45	19	0	64																								
動 物 交 換	余剰動物を他園と交換して、必要な動物を入手し、新しい血統を確保するための調整を行った。 【交換動物】ルーセットオオコウモリ、ポニー																												
血統登録・血統管理	（公社）日本動物園水族館協会が行う血統登録に参画し、希少種の血統管理の会議に出席するなど国内の希少種保全に協力した。レッサーパンダの貸し出し、アムールヒョウの導入を行うなど他園館と協力して希少種の血統管理を行い、血縁の偏りを防いだ。																												
動物の飼育管理及び展示環境の改善	園内で飼育・展示する動物が健康で長生きできるよう飼育管理を行った。また、動物が本来持つ自然で多様な行動を引き出し、日々生き生きと暮らせるよう、展示環境の改善を行った。																												
飼 育 管 理	健康状態を良好に保つため、衛生的かつ栄養学的に適切な飼料の配合や給餌、必要に応じた診察や治療、飼育舎の衛生管理を行った。また、冬場に発生する高病原性鳥インフルエンザ対策など、防疫を徹底した。																												
環境エンリッチメントの強化	展示動物の福祉向上のため、生息地の自然環境を考慮して、展示場に遊具や渡り木を設置するなど展示環境に工夫を加えた。																												
ハズバンダリートレーニングの強化	拘束や麻酔などを行わなくても、健康診断や治療、様々なケアができるようにするため、飼育員の声や笛の音、手の動きなどの合図で特定の姿勢をとらせる訓練を行った。対象動物を広げるなど強化を図り、動物たちの身体的な負担やストレスを軽減した。																												

(ウ) 入園料の収受（利用料金制）

【入園状況】

区 分					入 園 者 数	使 用 料	
有 料 入 園 者	個 人		大人	18歳以上65歳未満	510 円	138, 215 人	70, 489, 650 円
				65歳以上	170 円	8, 275 人	1, 406, 750 円
			小人	18歳未満(小・中学生を除く)		170 円	2, 542 人
	年間 パス ポート	購入		大人	18歳以上65歳未満	1, 560 円	5, 071 人
			65歳以上		510 円	370 人	188, 700 円
			小人	18歳未満(小・中学生を除く)	510 円	12 人	6, 120 円
	提示	大人	18歳以上65歳未満	—	17, 788 人	— 円	
			65歳以上	—	1, 862 人	— 円	
		小人	18歳未満(小・中学生を除く)	—	27 人	— 円	
	団 体		大人	18歳以上65歳未満	430 円	6, 264 人	2, 693, 520 円
				65歳以上	130 円	272 人	35, 360 円
			小人	18歳未満(小・中学生を除く)	130 円	2, 601 人	338, 130 円
	優待割引		大人	18歳以上65歳未満	430 円	391 人	168, 130 円
				65歳以上	130 円	13 人	1, 690 円
			小人	18歳未満(小・中学生を除く)	130 円	2 人	260 円
小 計					183, 705 人	83, 671, 210 円	
減免等入園者 (小・中学生、社会福祉施設、その他)					192, 595 人	— 円	
合 計					376, 300 人	83, 671, 210 円	

(エ) 利用促進

名 称	時 期	内 容	枚 数 等
「ポニー体験乗馬」 ポイントカードの発行	通 年	毎週土・日曜日、祝日に行う「ポニーの体験乗馬」の参加者に対してポイントカードを発行し、利用回数に応じた特典を設け、リピーターの確保を図った。	3,295 枚
年間パスポートの販売 (動物園・植物園・ 昆虫館共同事業)	通 年	より多くの方に動物公園の魅力に触れる機会を提供するため、植物公園・昆虫館と共通で利用できる年間パスポートを販売し、利用者に対するサービスの向上及びリピーターの確保を図った。	販売枚数 5,453 枚
優待利用券の販売	通 年	入園券引換券と飲み物引換券がセットになった優待利用券を主に企業・団体(福利厚生、景品など)に販売し、新たな入園者の獲得に努めた。	販売冊数 大人(65歳未満) 64 冊

名 称	時 期	内 容	枚 数 等
広島市交通科学館との相互利用促進 (公財)広島市文化財団共同事業)	通 年	近隣施設の広島市交通科学館と協力して、相手施設の使用済の観覧券又は入園券提示者に団体割引料金を適用し、更なる利用者獲得を図った。	406 人
旅行業者と連携した観光客の誘致	通 年	入園者誘致のため、旅行業者が発行するクーポン券利用による入園料の後納の取扱いを行うとともに、当園の広報宣伝を旅行業者に委託した。	1 件
アニマルカードの進呈	通 年	天候不順日の来園者を対象に、オリジナルアニマルカードを進呈した。	7,110 枚
外国人観光客誘致の促進	通 年	新たな顧客層となる外国人観光客の誘致のため、リーフレットの多言語化やホームページの英語版の作成に取り組んだ。また引き続き、観光案内所等を通じて、英語や中国語のリーフレットを配布した。	平和記念公園レストハウス観光案内所、JR広島駅南口観光案内所、広島バスセンター など
休 園 日 の 開 園	5月2日 11月22日 3月28日	ゴールデンウィークにおける休園日、祝日と重なる場合の前日の振替休園日及び春休みにおける休園日を開園し、利用者に対するサービスの向上及び入園者の増加を図った。	3,689 人 751 人 359 人 計 4,799 人
宮島水族館との連携	7月15日 ～3月31日	宮島水族館と連携したスタンプラリー等を実施し、観光客の増加を図った。	《スタンプラリー参加者》 安佐動物公園 1,719 人 宮島水族館 1,576 人
夜 間 開 園 (ナイト・サファリ)	8月12日 8月13日 8月19日 8月20日 8月26日 8月27日 9月2日 9月3日	昼間とは異なる動物たちの生態を観察できるよう、園内をライトアップし、動物公園の魅力を向上させ、入園者の増加を図った。	夜間入園者数 (16時以降の入園者数) 4,036 人 4,596 人 5,033 人 3,923 人 5,577 人 3,137 人 6,545 人 3,680 人 計 36,527 人
広響夕暮れコンサート	8月13日	広島交響楽団によるコンサートを開催し、利用促進と利用者に対するサービスの向上を図った。	300 人 250 人 (2 回)

名 称	時 期	内 容	枚 数 等
安 佐 動 物 公 園 ウオーキング大会 (安佐北区役所共同事業)	10月21日	シニア層を対象に、動物や植物など園内の自然に親しみながら歩く、ウオーキング大会を開催した。	85 人
お 客 様 感 謝 デ ー	1月8日 2月12日	日頃の利用に感謝して、閑散期である冬期の任意の休日2日を入園料無料の日とし、入園者サービスの向上並びに入園者数及び収入(駐車料など)の増加を図った。	1,442 人 4,055 人 計 5,497 人

(オ) 施設の維持管理・園内サービス

名 称	時 期	内 容
施 設 の 維 持 管 理	通 年	入園者に安全・快適な観察環境を提供するため、園内の清掃・警備を行った。動物の排泄物については、園内で堆肥化した上で、農家に提供した。また、動物舎などの建物や機械・電気などの設備を良好な状態で利用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。
利 用 案 内	通 年	入園者が快適に観察できるよう、標識、リーフレット(外国人向けのものを含む)や園内放送などにより利用案内を行った。
緊 急 時 な どの 対 応	通 年	傷病者の救護、迷子の捜索・保護、拾得物・遺失物の管理などを行った。
園 内 情 報 の 提 供	通 年	園内の各所に工夫を凝らした展示解説板やクイズボード等を設置し、動物に関する知識の普及を図った。また、園内イベント情報を掲示し、今日の見どころを紹介した。
スマートフォン等用 園内ガイドアプリの活用	通 年	スマートフォンやタブレット用のオリジナルアプリを活用し、入園者の利便性の向上や動物に関する知識の普及を図るため、スマートフォン等用の園内ガイドアプリを運用した。 (ダウンロード数 1,695 件)

(カ) 施設の機能充実

名 称	時 期	内 容
みどり生きものサポーター・ 安佐動物公園募金等による 施 設 の 機 能 充 実	通 年	動物福祉向上のための環境づくりを行うため寄附金を募った。寄附金は次年度以降に繰り越し、動物福祉向上のための施設等に充てていく予定である。

イ 生物多様性の保全

(ア) 他団体との連携



名 称	時 期	内 容	回 数 等
日 動 水 の 種 保 存 に 関 する 会 議 へ の 参 加	通 年	(公社) 日本動物園水族館協会の種保存に関連した会議 (Web 会議含む) に参加し、種保存 (繁殖) 計画の検討及び調整を行った。	10 回
希 少 動 物 の 保 護	通 年	(公社) 日本動物園水族館協会からの受入れ要請に基づき、ワシントン条約違反の任意放棄動物を保護した。	12 点
姉 妹 動 物 園 と の 交 流	通 年	ホノルル動物園と種の保存を目的とした技術交流等を行い、飼育や繁殖技術の向上を図った。	1 件
日 本 オ オ サ ン シ ョ ウ オ の 会 の 活 動	10 月	オオサンショウウオの生息地で開催された古座川大会に参加し、保護活動に必要な情報を交換した。	1 件

(イ) 生息域内保全



名 称	時 期	内 容	回 数
生 息 地 に お け る 絶 滅 危 惧 動 物 の 保 全	通 年	北広島町志路原地区や世羅町小谷の保全団体などとの協働により、オオサンショウウオやナゴヤダルマガエルなど、絶滅に瀕した野生動物の保全活動を行った。また、安佐北高等学校の校舎や広島大学歯学部校舎に生息するオヒキコウモリの個体群の調査を行った。	オオサンショウウオの 野外調査 11 回 ナゴヤダルマガエルの 野外調査 2 回

(ウ) 生息域外保全



名 称	時 期	内 容	件 数
生 息 地 以 外 に お け る 絶 滅 危 惧 動 物 の 保 全	通 年	国の特別天然記念物であるオオサンショウウオ、希少種であるオヒキコウモリ、キクガシラコウモリやヤマコウモリの飼育、ハヤブサの飼育下繁殖、繁殖行動の調査などに取り組んだ。また、広島県から保護管理業務を受託したナゴヤダルマガエルの飼育、繁殖及び放流等を行った。	6 件

(エ) 動物に関する調査・研究等



名 称	時 期	内 容
動物に関する調査・研究	通 年	園内の動物や県内の野生動物の生態などについて調査・研究を行い、飼育技術の確立や生息域内・域外保全の推進に努めた。 1 将来の展示に向けた調査・研究 〔短期的取り組み〕 ・新キリン・シマウマ舎の建築において、動物の生態・行動、飼育方法や、構造に関する専門的な情報を提供するなど広島市に協力した。 〔中・長期的取り組み〕 ・キクガシラコウモリ等の小型哺乳類の飼育技術の確立のための飼育施設環境整備を行った。 ・園内に生息しているホンダギツネやムササビの行動について随時調査するとともに、入園者の観察に適したポイントについての研究を行った。 2 繁殖に関する調査・研究 ・他園への聞き取り調査等を行い、チーター、レッサーパンダ等の繁殖に関する調査・研究を行った。 ・希少種であるオヒキコウモリ、ヤマコウモリ、飼育困難種であるキクガシラコウモリ、ニホンノウサギの繁殖に取り組んだ。
各 種 資 料 の 収 集	通 年	Journal of ZOO and WILDLIFE MEDICINE など動物に関する書籍・雑誌・資料を収集し、繁殖などの調査・研究に役立てた。
写真・動画などの制作	通 年	飼育動物の生態や飼育業務の様子などを写真・動画等に収録し、飼育技術の向上、継承及び調査・研究に役立てるとともに、市民に情報を提供した。
学会・研究会への参加	通 年	日本野生動物医学会大会、日本哺乳類学会、個体群生態学会、両生爬虫類会議、(公社)日本動物園水族館協会技術者研究会、同中国四国ブロック動物園技術者研究会及び中国四国野生動物医療・看護勉強会などに参加した。
オオサンショウウオの調査研究・成果の公開	通 年 (11月18日)	大学・博物館等との共同により、オオサンショウウオの調査研究を推進し、その成果をシンポジウム等により市民に公開した。 (会場参加者22人 WEB参加者72人) 八幡川(広島市佐伯区)における国特別天然記念物のオオサンショウウオと中国原産の外来種の交雑個体の調査に取り組んだ。
研 究 活 動 発 表 会 (動物園・植物園・昆虫館共同事業)	2月3日	動物公園の研究成果を市民に発表する場を設け、「日本国内に2頭しかいないマルミミゾウの繁殖を目指して!」と題して発表した。(参加者44人)



(オ) 野生動物の救護

名 称	時 期	件 数 等
野 生 動 物 の 救 護	通 年	哺乳類 4 件 3 種 6 点
		鳥 類 19 件 13 種 25 点
		爬虫類 1 件 1 種 1 点
		両生類 0 件 0 種 0 点
		計 24 件 17 種 32 点

ウ 教育・普及

(ア) 社会教育への協力

名 称	時 期	内 容	件 数 等
動物レクチャー・体験型 環境学習プログラム	通 年	社会人を対象に、動物科学館 2 階ホールや動物展示場前において、随時、動物の生態や特徴についての話や体験学習を行った。	6 件 235 人
クイズ形式ワーク シートの園内配布	通 年	クイズ形式のワークシートを年齢層別・テーマ別に作成し、園内で配布することにより動物への関心や興味を喚起する機会を提供した。	配布枚数 7,500 枚
動物クイズラリーの助成	通 年	遠足時に行うクイズラリーの相談を受けるほか、スタンプの貸出しを行った。	18 件
実習生の受入れ	通 年	大学生などを受け入れ、博物館実習（学芸員実習）、飼育実習、獣医臨床実習を行った。	30 件
講演会・研修会 への講師の派遣	通 年	団体からの要請に基づいて調整し、職員を講師として派遣した。	3 件
教材資料の作製・貸出し	通 年	作製した標本などの教材資料を学校などに貸し出した。	51 件 132 点 利用者 6,268 人

(イ) 学校教育への協力

名 称	時 期	内 容	件 数
出 前 講 座	通 年	小学校・中学校・高等学校などに職員を派遣し、動物の生態などについて講座を行った。	7 件
理科教育での連携	通 年	講師の派遣、園内における体験学習、情報提供等により、近隣にある日浦小学校の理科教育の実施に協力した。	2 件
教材生物バザールへの参加	5 月	県立教育センターの要請に基づいて職員を派遣し、教材として動物に関する試料を提供した。	1 件

(ウ) 市民・団体との協働



名 称	時 期	内 容	人 数 等
動物解説ボランティア	通 年	動物解説ボランティアを募集・育成し、園内での動物解説の充実を図った。 (解説ボランティア登録人数52人)	活動延べ人数 231 人
作業ボランティア	通 年	作業ボランティアを募集・育成し、園内の花壇等の植え替えや管理などを行った。 (作業ボランティア登録人数41人)	活動延べ人数 533 人
ボランティアとの共同イベント	通 年	ボランティア主催のイベント「ヒツジからのプレゼント」、「フェルトでゆきだるま」、「ナイトガイド」、「サバンナまつり」を支援し、また、安佐動物公園主催のイベントへの協力を受けた。	4 件 プレゼント100 個 フェルト51 人
Happy Bus 停プロジェクト (呉工業高等専門学校)	通 年	公共交通機関利用による来園と近隣団地のバス路線の利用促進を図るため、学生が近隣団地などと連携して進めてきた動物園前バス停のパネルや園内売店前の時刻表等バス情報の更新などを行った。	1 件
大学・専門学校等との協働	通 年	大学・専門学校等と動物公園との相互協力により共同研究などを行った。	麻布大学 1 件 京都市動物園 1 件 岡山理科大学 3 件 岩手大学 1 件 北里大学 1 件 岐阜大学 1 件 九州大学 1 件 京都大学 1 件 神戸大学 1 件 国立科学博物館 1 件 富山大学 1 件 東京大学 1 件 東京農工大学 1 件 長浜バイオ大学 1 件 広島大学 3 件 総合地球・ 環境研究所 1 件 明治学院大学 1 件 計 21 件
鹿角ストラップづくり ((公財) 広島市文化財団)	4 月 29 日	シカの角を使った縄文風のオリジナルストラップ作りを体験するとともに、市内で発掘された動物に関する出土品を展示した。	イベント参加者数 183 人
動物と一緒に学ぼうお口の健康！ in 安佐動物公園 (サンスタール (株))	6 月 10 日	動物の歯や生態に関するクイズラリーや、歯についてのステージショー、歯の健康相談などを行った。	入園者数 3,564 人 参加数 1,716 人

名 称	時 期	内 容	人 数 等
みどり生きものきょうしつ (株)広島東洋カープ)	6月13日	マツダスタジアムで動物園等のブースを設置し、応援する機運や生きものへの関心を高める展示を行った。	—
ドリームナイト・アット・ザ・ズー (ジブラルタ生命保険株)	8月5日	障害を持つ子どもやその家族等を夜の動物園に招待した。	参加者数 1,883人
防災の日関連イベント (中国地方整備局・広島市危機管理室)	9月24日	9月1日の防災の日にちなみ、動物と気象・防災に関するイベントを開催した。	入園者数 2,554人
特殊詐欺被害防止 キャンペーン (広島市、広島県警察)	10月1日	クイズラリー等を通して、父母や祖父母と一緒に被害防止について考えるイベントを開催した。	クイズラリー参加者 200組 入園者数 2,705人
動物園で計量記念日 (広島市計量検査所・ (一社)広島県計量協会・ 広島市計量協会)	10月29日	11月1日の計量記念日にちなみ、動物の体重や長さなどについてクイズを行いながら解説を行った。	イベント参加者数 136人
サンちゃんの日 消防隊長 (安佐北消防署)	11月11日	秋の全国火災予防運動に合わせて、安佐動物公園のマスコット「サンちゃん」の着ぐるみが「一日消防隊長」として、火災予防に関するパフォーマンスを行った。	イベント参加者数 42人
広島市立大学芸術 学部の作品展示 (広島市立大学)	12月23日 ～1月21日	広島市内で唯一芸術学部を有する広島市立大学の学生の作品発表の場として、園内の動物を描いた絵画などの作品を展示した。	展示作品数 24点

(エ) 広島動物愛好会の活動



会員内訳（個人会員：119人、家族会員：32家族116人、賛助会員：6社）

名 称	時 期	内 容	参加者数等
広島動物愛好会例会	4月9日	講話「イースターについてのお話・ダチョウのお話」、園内見学	36人
	6月11日	講話「屠体給餌について」、園内見学	38人
	8月13日	講話「動物園と平和」、講話関連絵本輪読会	17人
	10月8日	講話「大鳥舎について」、園内見学	31人
	12月10日	講話「十大ニュース」	50人
	2月11日	講話「テンジクネズミのふれあい再開」、園内見学	39人

名 称	時 期	内 容	参加者数等
会 誌 の 発 行	年6回	愛好会の活動や動物公園の出来事などを載せた会誌「ズーミング」を発行した。	各回 200部
す づ く り の 送 付	年4回	動物公園の出来事などを載せた機関紙「すづくり」を会員に送付した。	各回 200部
自 然 観 察 会	6月25日	広島大学東広島キャンパス内で鳥類や昆虫、植物を観察した。 (場所 東広島市鏡山)	10人
	12月24日	厳島内で植物、鳥類、哺乳類を観察した。 (場所 廿日市市宮島町)	13人

(オ) コンクールその他催し物の開催

a コンクール



名 称	時 期	内 容	応募点数等
動物作文・詩コンクール	7月1日 ～9月9日	小・中学生を対象に、動物に関する作文・詩を募集し、優秀作品を表彰した。	応募 638点 入選 127点
動 物 画 コ ン ク ー ル	7月1日 ～9月9日	園内の動物や風景を題材とした動物画を募集し、優秀作品を表彰した。	応募 2,440点 入選 328点
安佐南区子ども会連合会 写 生 大 会 (安佐南区子ども会連合会共催)	8月16日	動物を題材とした写生大会を安佐南区子ども会連合会と共催実施し、優秀作品を表彰した。	応募 146点 入選 62点
動 物 写 真 コ ン ク ー ル	9月1日 ～11月29日	園内の動物を題材とした写真を募集し、優秀作品を表彰した。	応募 219点 入選 23点

b 観察会



名 称	時 期	内 容	参加者数
ビオトープで生きもの観察	4月15日	園内のビオトープでカエルや昆虫など身近な生き物を観察した。	30人
ダルマガエル観察会	5月27日	園内において生息域外保全しているダルマガエルを観察した。	300人
あおぞら自然観察会 (動物園・植物園・ 昆虫館共同事業)	10月22日	自然に関する理解を深めるため、元宇品公園(広島市南区)で動・植物や昆虫の観察会を実施した。	15人

c 動物教室その他催し物



名 称	時 期	内 容	参加者数等
動物公園春まつり	4月16日 ～5月14日	春の行楽シーズン中の土・日曜日、祝日に様々な催し物を実施し動物に関する知識の普及と、入園者の増加を図った。	入園者数 97,607人
飼育の日イベント	4月16日	4月19日の「飼育の日」にちなみ、飼育係の仕事を紹介するパネル展示を行った。	入園者数 2,160人
世界バクの日イベント	4月23日	4月27日の「世界バクの日」にちなみ、マレーバクについて解説やパネル展示を行った。	缶バッジ配付 100個 参加者 70人
ヒツジの毛刈り	4月30日	ヒツジの毛刈りを行い、その様子を一般公開した。	各500人 (2回)
スマートフォンアプリダウンロード促進イベント	5月3日	オリジナルアプリのダウンロードを促進するため、ダウンロードした来園者に景品を進呈した。	400人
動物園でエンリッチメント～ライオンにワイルド肉～	5月14日	害獣駆除されたシカなどをライオンに与え、健康増進を図るとともに、動物園におけるエシカル消費、SDGsの取組みについて紹介した。	300人
世界カワウソの日イベント	5月28日	5月の最終水曜日の「世界カワウソの日」にユーラシアカワウソについて解説やパネル展示を行った。	缶バッジ配付 100個 参加者 35人
動物愛称募集	(募集) 6月17日 ～7月2日 (命名式) 7月16日	6月5日に生まれたヒツジ2頭の愛称を募集した。	投票数 717票
	(募集) 7月29日 ～8月13日 (命名式) 8月27日	7月23日に来園したポニーの愛称を募集した。	投票数 1,176票
オウム・インコデー	6月17日	6月15日のオウム・インコデーにちなみ、希少動物であるインコについて解説やパネル展示を行った。	缶バッジ配付 100個 参加者 30人
世界キリンの日イベント	6月18日	6月21日の「世界キリンの日」にちなみ、アミメキリンについてパネル展示を行った。	缶バッジ配付 100個 参加者 50人
どうぶつウンチ研究室	7月2日	様々な動物のウンチを観察し、それぞれの違いや体の仕組みについてパネル展示を行った。	入園者数 2,055人
動物たちの暑中見舞い	7月23日	大暑に、氷やスイカなどを動物に与えた。	100人

名 称	時 期	内 容	参加者数等
夜の動物園で動物観察 (寄附者対象)	8月5日	夜の動物園に招待し、動物たちの夜間特有の行動を解説する観察会を行った。	220人
動物公園秋まつり	9月9日 ～11月26日	秋の行楽シーズン中の土・日曜日、祝日に様々な催し物を実施し、動物に関する知識の普及と、入園者の増加を図った。	入園者数 113,199人
レッサーパンダの日イベント	9月16日	第3土曜日の「国際レッサーパンダデー」にレッサーパンダについて解説やパネル展示を行った。	50人
動物たちの敬老の日	9月18日	敬老の日に、長寿の動物たちを表彰して入園者とともに祝った。	75人
世界サイの日イベント	9月23日	世界サイの日になみ、クロサイの生態や野生下でのサイの現状などについて解説やパネル展示を行った。	50人
Z O O トーク (飼育係と動物トーク)	10月9日 10月15日	飼育の苦労話、動物のこぼれ話からサイエンスに関する話まで幅広い話題について、トークショーを行った。	130人 150人
動物園でエンリッチメント ～ライオンにワイルド肉～	11月5日	害獣駆除されたシカなどをライオンに与え、健康増進を図るとともに、動物園におけるエシカル消費、SDGsの取組みについて紹介した。	300人
SDGsクイズ大会 (動物クイズ大会)	11月23日	広島観光親善大使を招き、動物とSDGsに関係するクイズ大会を行った。	67人
サンちゃんデー	11月26日	オオサンショウウオについてパネル展示を行った。	入園者数 100人
小学生の飼育体験教室	10月14日 10月28日	小学校4～6年生を対象に、飼育実習を行い、動物の飼育方法や暮らしについて学ぶ機会を提供した。	18人 18人
飼育係とおはなし サ タ デー	11月4日 ～実施	毎週土曜日に、展示動物の前で飼育係が動物について解説したり、普段は見ることのできない動物舎などを案内したりして、動物園の仕事や動物への理解を深める機会を提供した。	315人
大人の飼育体験教室	11月25日	野生動物への関心を深めるため、飼育実習と講義を行った。	13人
動物公園冬まつり	12月2日 ～2月28日	冬季の土・日曜日、祝日に様々な催し物を実施し、動物に関する知識の普及と、入園者の増加を図った。	入園者数 57,381人
動物園でしめ飾り 作 り 体 験	12月9日	お正月に向けて、日本固有の文化であるしめ飾り作りを行う体験イベントを開催した。	30人 (14組)
もうすぐクリスマス 安佐動物公園から プ レ ゼ ン ト	12月17日	広島東洋カープの矢野雅哉選手を招き、クリスマス前に、安佐動物公園のオリジナルグッズ等のプレゼントが当たる抽選会を開催した。	143人

名 称	時 期	内 容	参加者数等
干支の動物缶バッジを プ レ ゼ ン ト	1月2日 1月3日	正月に、干支の動物「辰」（たつ）をデザインした缶バッジを入園者にプレゼントした。	缶バッジ配付数 各回200個
新 春 動 物 か る た で 遊 ぼ う よ ！	1月7日	安佐動物公園の展示動物の特徴を紹介したオリジナル動物かるたを使ったかるた取りを開催した。	46人
動 物 園 で ど う ぶ つ ぬ り 絵	1月14日	動物の模様などのぬり絵を通じて、動物に関する知識の普及を図った。	102人
動物脱出対策公開訓練	1月28日	動物が飼育舎や放飼場から脱出した想定により公開訓練を行った。	入園者数 1,391人 見学者 約60人
ま ん が 動 物 園	2月2日 ～2月28日	飼育係が動物の特徴や生態などをまんが解説パネルで紹介した。	期間中入園者数 26,280人
動 物 ま ん が ク イ ズ ラ リ ー	2月11日 2月18日 2月25日	飼育係が描いたまんが解説パネルを題材にしたクイズラリーを開催した。	579人 839人 789人 計 2,207人
親 子 動 物 教 室	3月24日	親子を対象に、標本や観察を通して動物の生態や暮らしについて学ぶ機会を提供した。	15組 31人

d 講演会

名 称	時 期	内 容	参加者数
動物講演会「死を生かす」	4月23日	宇根有美氏（岡山理科大学教授）を招き、病理学の基本的な事柄や、病理学の目的についての講演会を開催した。	42人
動 物 講 演 会 「野生動物と共存するマサイの暮らし ～ケニアのサバンナから命の話」	11月5日	マサイ族のジャクソン・オレナレイヨ・セイヨ氏とその第2夫人でありツアーガイドの永松真紀氏、同じくツアーガイドの早川千晶氏を招き、アフリカの動物たちとマサイ族の関わりやマサイ族の生活についての講演会を開催した。	67人
動 物 シ ン ポ ジ ウ ム 「ツキノワグマに遭わな いたために「クマ」を知る」	2月18日	西堀正英氏（広島大学教授）他8名のパネリストによる環境DNAから得られた野生のツキノワグマに関する講演などをシンポジウム形式で開催した。	51人

(カ) 学校教育活動の受入れ



名 称	時 期	内 容	参加者数等
進路総合学習の受入れ	通 年	中学校や高等学校の進路総合学習の一環として行う職場見学を受け入れた。	119人
動物レクチャー・体験型環境学習プログラム	通 年	小・中・高校生を対象に、動物科学館2階ホールや動物展示場前において、随時、動物の生態や特徴についての話や体験学習を行った。	幼1件 9人 小41件 3,117人 中5件 242人 特別5件 96人 計52件 3,464人
職 場 体 験 の 受 入 れ	7月4日 ～7月6日	近隣にある日浦中学校の職場体験を受け入れ、指導した。	6人
【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】 なかよし動物教室			

(キ) 企画展その他展示会の開催

名 称	時 期	内 容
動物たちと消防の 写生大会入賞作品展	4月1日 ～4月7日	前年度の「動物たちと消防の写生大会」の入賞作品を展示した。
動物写真コンクール 入 賞 作 品 展	4月22日 ～5月28日	前年度の「動物写真コンクール」の入賞作品を展示した。
企画展示「平和について考える～動物園の視点から～ZOO IS THE PEACE」	5月3日 ～5月28日	G7広島サミットの開催に合わせ、平和の象徴とされる動物園の視点から、戦時下における猛獣処分などの事実を通して、生命の尊重、平和で豊かな社会の存続の大切さを発信した。
企 画 展 示 「 動 物 園 の エ サ 事 情 」	7月22日 ～10月1日	飼育している動物に与えているエサの種類や与え方、動物ごとの消化の仕組みや糞の形状などを紹介することで、動物に関する知識普及を図る。また、糞尿を使ったりサイクルの取り組みや、食品ロスを削減するための動物飼料調達など、持続可能な消費と生産に関する取り組みについても紹介した。
動物画コンクール 入 賞 作 品 展	11月4日 ～11月26日	「動物画コンクール」の入賞作品を展示した。

(ク) 広報普及



名 称	時 期	内 容	件 数 等
マスコミによる広報	通 年	テレビ局、ラジオ局、新聞社、出版社、旅行ガイド誌社などを通じて、催し物や赤ちゃん誕生などのトピックスを広報した。	広報件数 60件 取材件数 174件 《取材件数の内訳》 テレビ 106件 ラジオ 5件 新聞 50件 その他 13件

名 称	時 期	内 容	件 数 等
催し物案内ポスター・P R 用チラシの配布	通 年	公共施設、観光事業所、商業施設へ、動物園の催し物案内ポスターやP R用チラシを配布した。	3,908か所
動物写真パネルの貸出し	通 年	動物の写真パネルを公共施設や事業所などに貸し出し、これらの場所を動物園のP Rの場とした。	8か所 156点
ホームページによる広報	通 年	ホームページにより施設の紹介、催し物、赤ちゃん誕生などの最新情報を提供した。	お知らせ 50件 イベント 69件 ブログ 14件 計 133件
X（旧Twitter）による広報	通 年	情報共有力・拡散力の高いX（旧Twitter）により、施設、イベントなどの魅力ある情報を発信した。	投稿件数 545件
マスコットキャラクターを利用した P R の実施	通 年	オオサンショウウオのキャラクターの着ぐるみ「サンちゃん」等を積極的に園内外のイベントに参加させ、動物園のP R活動を行った。	3件
保育園・幼稚園、小学校への P R	通 年	遠足での利用を促進するため、市立保育園・幼稚園、市立小学校、私立保育園等に対し、ポスター等を送付し動物園のP R活動を行った。	403件
公共交通機関利用者への P R	通 年	アストラムライン新白島駅構内の掲示板に、安佐動物公園のイベント案内ポスターを掲出し、駅利用客の誘客を図るとともに、動物園のP R活動を行った。	4件

(ケ) 出版物の発行



名 称	内 容	発行部数
「す づ く り」 「年 報」 「飼 育 記 録 集」	動物公園のニュース、動物の飼育記録や生態などを紹介した機関紙「すづくり」及び飼育動物の生態に関する研究や飼育技術などについての発表をまとめた「飼育記録集」などを発行、配布し、動物に関する知識の普及や動物園事業の周知を図った。「年報」についてはホームページ上で公開した。	すづくり 4 回 計 4,400 部 飼育記録集 260 部

(コ) 動物に関する相談



名 称	時 期	名 称	件 数
動 物 相 談	通 年	動物の飼育方法や野生動物の生態など動物に関する相談等を受けて助言、指導した。	301件

③ 植物公園の管理運営〔公2事業〕

広島市から指定管理者として指定（指定期間：令和4年4月1日～令和9年3月31日）を受けた広島市植物公園における植物の栽培・展示、収集及び栽培管理、入園料の収受、施設の維持管理などを行い、入園者が施設を安全かつ快適に利用できるよう努めた。

新型コロナウイルス感染症対策として、マスク着用、手指消毒、三密回避などをお願いするとともに、手すりなど接触部分の消毒等を行った。5月以降は消毒液設置のみとした。

また、他団体との連携や調査・研究の成果を生かして、生息域内保全と生息域外保全の両面から生物多様性の保全に貢献するとともに、社会教育への協力、学校教育活動の受入れや講座その他催し物の開催など各種事業を実施し、植物に関する知識及び植物愛好心の普及、かん養並びに植物愛好者の育成を図った。

ア 植物の栽培・展示など

(7) 植物の栽培・展示



〔展示場所〕 主な展示植物	内 容
〔大温室〕 ヤシ、ラン、オーストラリア バオバブ、熱帯果樹など	熱帯の水辺、花、果実などにゾーニングしたエリアに約700種類5,000株の亜熱帯、熱帯植物を植栽し、立体交差や通路から観賞しやすい効果的な展示を行った。最高部が21mある温室の大きさを活かし、巨大な熱帯植物が醸し出す熱帯の雰囲気を感じられる展示を行った。また、シンボルツリーとして導入した国内最大のオーストラリアバオバブを展示し、10月、11月にタッチングイベントを行った。
〔サボテン温室〕 サボテンなど	サボテン類や多肉植物約330品種500株を科ごとに分け、説明板や写真パネルをつけて展示した。乾燥地に適応した特異な形態や植物の適応戦略の面白さを知ること、生きものに対する興味の高揚を図った。
〔熱帯スイレン温室〕 熱帯スイレンなど	1年を通じ多彩で美しい花を咲かせる約50品種100株の熱帯スイレンを植栽し、エキゾチックな憩いの空間を提供した。また、子どもに人気の高いウツボカズラやハエトリグサなどの食虫植物を、模型や解説パネルを交えて展示し、植物に興味を抱くきっかけ作りの場とした。
〔ベゴニア温室〕 球根ベゴニアなど	冷暖房と電気照明設備を活用し、世界で最も美しい花の一つと言われる球根ベゴニアを周年開花させ、約680品種2000株の様々なベゴニアの展示を行うことで、季節を問わず美しい花を楽しむことのできる癒しの空間を提供した。また、球根ベゴニアの生育過程を解説展示することで、植物を育てることに興味を抱く機会を提供した。

〔展示場所〕 主な展示植物	内 容
〔フクシア温室〕 フクシア、野生ランなど	風鈴のようにチャームな花を咲かせるフクシア約140品種230鉢を周年展示し、非日常的な植物の美しさを楽しむ場とした。また、野生ランコーナーでは、解説パネルなどを交えて展示し、ランの不思議な世界を観賞できる機会を提供した。
〔カスケード〕 パンジー、ペチュニアなど	入園口から入って正面の大階段にはプランターやコンテナ、ハンギングバスケットを設置し、季節を代表する草花を展示して来園者を迎えた。
〔展示温室〕 ゼラニウムなど	植物公園が保有する世界のラン、ゼラニウム、イワタバコの仲間、食虫植物、薬用植物などや、近郊の愛好家が出品するエビネ、セッコク・長生蘭、ウチョウラン、サボテンなど、季節にふさわしい植物を年間18回展示した。
〔芝生広場〕 サクラなど	入園者の憩いの場、語らいの場のほか、子どもの遊び場として利用した。また、周辺にはサクラ類、マンサク、ロウバイ、ツツジなどの花木類を植栽・展示した。
〔花の進化園〕 スイレン科、ユリ科、 キク科、ラン科など	入園者が実物を観察しながら、花の進化について理解を深めることができるよう、種子植物を科ごとにまとめて植栽し、分類や進化の説明をつけて展示した。また、被子植物は最近の主流であるAPG分類体系へ移行し、理解を深める工夫をした。（APGとは、Angiosperm Phylogeny Group（被子植物系統グループ）の略で、葉緑体DNAの解析から植物の類縁関係を決定し分類したものである。）
〔屋外展示場〕 クレマチス、山野草など	愛好家が栽培しているクレマチス、山野草のほか、植物公園が収集したサクラソウ、アジサイ、中国ギクなどを展示した。
〔ロックガーデン〕 うらら池散策路 里山の野草園 セツブンソウ、ヒゴタイ、 ヤチシャジンなど	野生植物の多様な姿や絶滅に瀕している植物を中心に紹介することで、環境保全に対する関心を喚起した。特に、ロックガーデンには、高山や海岸などといった厳しい環境にも生育する種を、うらら池散策路沿いや里山の野草園では、主に広島県内の里山環境に自生する種を紹介した。
〔日本庭園周辺、うらら池湖畔〕 アジサイ	うらら池周辺にアジサイを順次追加植栽し、既存の日本庭園周辺とあわせてアジサイをめぐる回廊をつくり、梅雨頃の魅力アップを図った。
〔バラ園〕 バラ	広島市に寄贈された品種、野生種、オールドローズや古花と呼ばれる希少な園芸品種の植栽展示に力を入れることで他のバラ園との差別化を図り、遺伝資源の保全に貢献した。また、新品種も配置し、バラに包まれたくつろぎの空間を提供するとともに、新設したフェンスに新たにつるバラを誘引するなど、空間を利用したバラ園のさらなる景観向上を行った。



〔展示場所〕 主な展示植物	内 容
〔ツバキ園〕 ツ バ キ など	日本が世界に誇る園芸植物の一つであるツバキを植栽・展示した。周囲には、サザンカ類、ヒメシャラなどの野生種や、タイワンフウ、イロハモミジ、ニッサなど紅葉の美しい樹木を植栽し、秋から冬にかけての見どころとした。
〔日本庭園〕 ウメ、ハナショウブ、 ア ジ サ イ など	本格的な茶室を中心に、和風の植物を植栽し、落ち着いた雰囲気できつろげる空間を提供した。ハナショウブ園では後世に伝えたい古花の展示に努めているが、近年、土壌病害が深刻になっていたため、土壌入替と株の更新を行った。また、最奥部では自生地に近い環境を生かし、ヤマアジサイを展示した。
〔樹林観察園〕 シイ類、ブナ、カエデ類など	西南日本の常緑広葉樹林と落葉広葉樹林の構成種を植栽し、これらの樹林の環境や樹木を体感し、学習できる場を提供した。
〔森のレストラン前花壇〕 コ ス モ ス など	園内で最大の面積を誇る花壇に、春はネモフィラ、夏はヒマワリ、秋はコスモスを植栽し、フォトジェニックな風景を提供した。
〔 展 示 資 料 館 周 辺 〕	企画展示・講演会等への誘導及び快適な園内散策となるよう、効果的な植栽を行った。
ロ グ ガ ー デ ン	当園のウエルカムガーデンとして、バラや草花、樹木などが調和するゆったりとした雰囲気の中で散策を楽しんだり、併設のカフェテラスからの眺めを楽しんでいただける空間を提供した。
は な の わ ガ ー デ ン	スイレン温室前の立体花壇を、灌木や多年草、カラーリーフや一年草を混植したイングリッシュガーデンとし、季節ごとに風景が変わる花壇を提供した。基礎となる植物は、第37回全国都市緑化ひろしまフェアはなのわガーデンから移植（R3年3月）したもの。

【植物の栽培展示数】

(令和6年3月31日現在)

区 分	種 類	本 数
大 温 室	700 種類	5,000 本
サ ボ テ ン 温 室	330 種類	500 本
熱 帯 ス イ レ ン 温 室	200 種類	750 本
ベ ゴ ニ ア 温 室	680 種類	2,000 本
フ ク シ ア 温 室	300 種類	420 本
栽 培 温 室	3,900 種類	32,500 本
バ ラ 園	700 種類	1,000 本
ツ バ キ 園	200 種類	600 本
花の進化園、樹林観察園その他	3,100 種類	154,230 本
合 計	10,110 種類	197,000 本

(イ) 植物の収集及び栽培管理

名 称	内 容
展示・保存植物の維持・充実	計画的な増殖や種子・種苗の交換などにより、展示植物や保存植物の維持、充実を図った。
栽培下における増殖	希少又は展示上重要な野生植物や園芸品種の増殖を行った。
種子・種苗の交換	国内外の植物園などと種子や種苗を交換し、魅力的な種や貴重な種を導入した。 譲受け : 国外2ヶ国 2施設 19種 国内 12施設 93種 譲渡し : 国内 4施設 5種
種苗の導入	最新の市場動向などを把握することによって、季節ごとに展示する魅力ある植物を導入した。
植物の栽培管理	生育状態を良好に保ち、病虫害被害の発生を未然に防ぐため、品種ごとに灌水、施肥、剪定、温度・湿度の管理、必要に応じた薬剤散布などを適切に行い、栽培環境の向上を図った。

(ウ) 入園料の収受（利用料金制）

【入園状況】

区 分					入園者数	使 用 料	
有 料 入 園 者	個人		大人	18 歳以上 65 歳未満	510 円	40,005 人	20,402,550 円
				65 歳以上	170 円	17,993 人	3,058,810 円
			小人	18 歳未満(小・中学生を除く)	170 円	512 人	87,040 円
	年間パスポート	購入	大人	18 歳以上 65 歳未満	1,560 円	2,168 人	3,382,080 円
				65 歳以上	510 円	1,665 人	849,150 円
			小人	18 歳未満(小・中学生を除く)	510 円	11 人	5,610 円
		提示	大人	18 歳以上 65 歳未満	—	9,291 人	— 円
				65 歳以上	—	7,397 人	— 円
			小人	18 歳未満(小・中学生を除く)	—	18 人	— 円
		団 体	大人	18 歳以上 65 歳未満	430 円	552 人	237,360 円
				65 歳以上	130 円	638 人	82,940 円
			小人	18 歳未満(小・中学生を除く)	130 円	2 人	260 円
	小 計					80,252 人	28,105,800 円
減免等入園者(小・中学生、社会福祉施設、その他)					58,274 人	— 円	
合 計					138,526 人	28,105,800 円	

(エ) 利用促進

名 称	時 期	内 容	入園者数等
年間パスポートの販売 (動物園・植物園・昆虫館共同事業)	通 年	より多くの方に植物公園の魅力に触れる機会を提供するため、動物公園・昆虫館と共通して利用できる年間パスポートを販売し、利用者に対するサービスの向上及びリピーターの確保を図った。	販売枚数 3,844 枚
電動カートの運行	通 年	勾配のある園内や、駐車場から正門前までの移動手段として電動カートを巡回し、入園者にサービスの向上を図った。	土・日・祝日 7,873 人 平日 9,052 人 合計 16,925 人
夜 間 開 園	4月1日 4月8日 9月9日 9月16日 9月17日 9月23日 9月24日 11月25日 12月2日 12月9日 12月16日 12月23日 3月30日 3月31日	夜に開花する植物(オオオニバス・サガリバナ・月下美人)、夜に香る植物(夜香木、夜来香)、桜などのライトアップや、キャンドルとイルミネーションを使った幻想的な空間づくり、コンサートなどを行い、植物公園の魅力を向上させた。	夜間入園者数 (16時以降の入園者数) 1,105 人 337 人 1,143 人 939 人 1,193 人 1,109 人 654 人 1,263 人 1,517 人 2,061 人 1,542 人 1,274 人 420 人 338 人 計 14,895 人
さくらまつり	4月1日 ～4月16日 3月23日 ～3月31日	桜の見頃の時期に合わせ、桜観賞会や写真撮影講習会、コンサートなどのイベントを実施し、入園者の増加を図った。	11,269 人 5,972 人 計 17,241 人
休 園 日 の 開 園	4月7日 5月2日 8月10日 11月2日 2月22日 3月29日	さくらまつり、春の特別ラン展期間中などの休園日を開園し、利用者に対するサービスの向上を図った。	49 人 1,029 人 60 人 632 人 246 人 360 人 計 2,376 人
ネモフィラウイーク	4月15日 ～5月7日	SNS映えするネモフィラを特出しして来園者に季節感を味わっていただくとともに、季節の花の解説などを充実させた。また、森のカフェでバタフライピーティーの提供をするなど植物公園の魅力をアピールした。	16,506 人

名 称	時 期	内 容	入園者数等
みどりの日・植物園の日 記 念 行 事	5月4日	みどりの日と植物園の日を記念し、 花苗のプレゼント、コンサートなど 様々なイベントを実施した。	5,046 人
区民ウオーキング大会 (佐伯区役所共同事業)	5月27日	手軽な健康づくりを推進するため、 区民を対象にウオーキング大会を実 施した。	参加者数 280 人
ハナショウブウイーク	5月27日 ～6月11日	ハナショウブの展示を中心に、花の 解説等を行った。	6,293 人
アジサイウイーク	5月27日 ～7月2日	アジサイの展示を中心に、花の解説 等を行った。	12,682 人
サマーフェア	7月15日 ～8月31日	夏休み期間中を中心に、植物クイズ ラリーや「カブトムシとクワガタム シ」観察会、イベント広場や芝生広 場での散水器具を使用した水遊びを 実施し、入園者の増加を図った。	18,373 人
ヒマワリウイーク	7月22日 ～8月31日	SNS映えするヒマワリを特出しし て来園者に季節感を味わっていただ くとともに、季節の花の解説などを 充実させ植物公園の魅力をアピール した。	15,175 人
コスモスウイーク	10月21日 ～11月5日	フォトジェニックなコスモスの特出 しし、来園者に季節感を味わってい ただくとともに、季節の花の解説な どを充実させ、コスモスの花みくじ を実施するなど植物公園の魅力をア ピールした。最終日には花の摘み取 りを行った。	15,424 人
秋のグリーンフェア	10月28日 ～11月5日	秋のグリーンフェアの会場として利 用するとともに、期間中の入園料を 無料とし、キッチンカーの出店や新 規イベント等による入園者サービス の向上並びに入園者数及び収入（駐 車料など）の増加を図った。街中で 行われる春のグリーンフェアとのコ ンセプトの違いを強調し、緑に囲ま れた園内でより深く緑に親しみ、植 物について多くの学びを得られるイ ベントとして実施した。	12,567 人
開園記念日記念行事	11月3日	開園47周年を記念し、花苗のプレ ゼントやコンサート、植物クイズラ リーなど様々なイベントを実施し た。	3,608 人

名 称	時 期	内 容	入園者数等
バ レ ン タ イ ン フ ェ ス テ ィ バ ル	2月10日 ～2月14日	バレンタインデーにちなみ関連イベント（講演会や実演会等）を実施するとともに、園内を装飾した。	1,921 人
春 の 特 別 ラ ン 展	2月17日 ～2月25日	大温室内にランの愛好団体や生産者による展示ブースを設けるとともに、「ランで祝う新サッカースタジアム」をテーマとした洋ランの大規模展示、スタジアムの模型や「復興の歴史とサッカー」パネルの展示を行った。あわせて、サンフレッチェ広島とコラボしたトークショーなど各種関連イベントを開催した。	7,359 人

(オ) 施設の維持管理・園内サービス

名 称	時 期	内 容
施 設 の 維 持 管 理	通 年	入園者に安全・快適な観覧環境を提供するため、園内の清掃・警備を行った。また、温室などの建物や機械・電気などの設備を良好な状態で使用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。
利 用 案 内	通 年	入園者が快適に観察できるよう、標識、リーフレット、園内放送などにより利用案内を行った。
緊急時などの対応	通 年	傷病者の救護、迷子の捜索・保護、拾得物・遺失物の管理などを行った。
樹木ラベルの充実	通 年	樹木ラベルの追加・更新を行った。

(カ) 施設の機能充実

名 称	時 期	内 容
みどり生きものサポーター・植物公園募金等による施設の機能充実	通 年	植物を観察し学習できる場を入園者に提供するため、寄附金を募った。寄附金は次年度以降に繰り越し、全ての世代が植物観賞の合間も楽しく過ごせる環境づくりに充てていく予定である。

イ 生物多様性の保全

(ア) 他団体との連携

名 称	時 期	内 容	件 数
都 市 に お け る 自 然 環 境 保 全 活 動	通 年	広島市の保存樹・保存樹林指定審査会などに参加し、都市空間における自然環境保護の推進に寄与した。	1 件

名 称	時 期	内 容	件 数
希 少 植 物 の 保 護	通 年	(公社)日本植物園協会からの受入れ要請に基づき、ワシントン条約違反の任意放棄植物を保護した。	41 件 (前年度からの継続含む)
		広島市環境局環境保全課に対し、『恵下埋立地(仮称)希少動植物調査結果報告』に基づく、今後の調査・保全方針について、助言・提言を行った。	1 件

(イ) 生息域内保全



名 称	時 期	内 容	件 数
生 息 地 に お け る 絶 滅 危 惧 植 物 の 保 全	通 年	世羅町をはじめとする広島県内の自生地において、ヤチシャジンをはじめとする絶滅の危機に瀕した植物の調査や保全活動を行った。	12 件

(ウ) 生息域外保全



名 称	時 期	内 容	種 数 等
生 息 地 以 外 に お け る 絶 滅 危 惧 植 物 の 保 全	通 年	野生ラン、ヤチシャジン、ヒゴタイなど、広島県内産種を中心に、日本の絶滅危惧植物を保全した。また、(公社)日本植物園協会の多様性保全拠点園事業に参加し、植物の多様性の保全に貢献した。	日本産 120 種 ワシントン条約 98 種
園 芸 植 物 遺 伝 子 資 源 の 保 護	通 年	変化アサガオ、サクラソウ、ゼラニウムやバラの古い園芸品種など、保護が必要な園芸植物を栽培・保存した。(公社)日本植物園協会が行うナショナルコレクション検討会に参加し、植物の多様性の保全に貢献した。	66 種 約 400 系統 検討会 1 件

(エ) 植物に関する調査・研究



名 称	時 期	内 容
植 物 に 関 す る 調 査 ・ 研 究	通 年	《植生調査》 主に県内の植物分布などの調査を行い、希少植物や分布上貴重な植物について、自生状況を記録するとともに保護に努めた。
		《成果の公表》 植物に関する調査・研究活動により得られた知見を学会や印刷物により公表した。
各 種 資 料 の 収 集	通 年	植物の標本及び植物に関する書籍・雑誌・資料を収集し、栽培や調査・研究に役立てた。

名 称	時 期	内 容
植 物 標 本 の 活 用	通 年	広島県内の植物標本庫における相互ネットワークを構築し広島大学などの県内の標本庫と情報交換を行った。
研 究 活 動 発 表 会 (動 物 園 ・ 植 物 園 ・ 昆 虫 館 共 同 事 業)	2月3日	栽培展示活動や調査研究活動などの成果を市民に情報提供した。当園は特別企画展「牧野富太郎と広島」についてを演題に発表した。(参加者44人)



ウ 教育・普及

(ア) 社会教育への協力



名 称	時 期	内 容	件 数 等
講習会・研修会などの開催及び講師の派遣 (出前講座を含む)	通 年	団体の要請に基づいて、随時、植物公園で講習会・研修会などを開催した。また、公民館、学校等を対象に園外に出向き、講演や講習会などを開催した。	園内 6 件 園外 20 件
実 習 生 の 受 入 れ	通 年	大学生などを受け入れ、博物館実習(学芸員実習)、就業体験(インターンシップ)を行った。	5 件 5 人
森の幼稚園を活用した保育者指導	6月4日 10月8日	幼児教育の専門家を招き、保育者等を対象とした自然体験プログラムの指導を行った。	6 組 16 人 5 組 21 人

(イ) 市民・団体との協働



名 称	時 期	内 容	活動者数等
植物解説ボランティア	通 年	園内で植物解説活動に当たるガイドボランティアを育成した。 (解説ボランティア登録人数50人)	活動延べ人数 956 人
植物管理ボランティア	通 年	植物友の会会員を対象に園内で植物管理に当たるボランティアを育成した。	活動延べ人数 240 人
地域団体などとの協働	通 年	造幣局広島支局「花のまわりみち」への桜樹育成指導や文化活動、佐伯区役所との協力などにより、植物を通じた地域の活性化を図った。	25 件 《内訳》 造幣局桜樹育成指導 4 件 佐伯区百人委員会花部会 6 件 さきさきフラワープロジェクト 7 件 区民ウオーキング大会 1 件 福富中学校 1 件 (株)静環境センター 3 件 湯来ロッジ 2 件 (一財)自然環境研究センター 1 件
グリーン・レガシー・ヒロシマへの協力	通 年	被爆樹木の種子を国内外の都市へ送付する活動に対し、種子の保存や送付及び育苗の協力を行った。	24 件

名 称	時 期	内 容	活動者数等
花 と 緑 と 音 楽 の 広 島 づ く り の 推 進	通 年	広島市都市整備局緑化推進部と連携して、地域の花壇作り等の活動を行うグループへの講習を実施し、リーダー育成につなげた。	3 件

【愛好者団体による展示会】

名 称	時 期	内 容
「草木染の世界」展	4月1日 ～4月6日 3月2日 ～3月31日	草木を使った染物と染色に利用される植物などを展示し、作品などについて解説した。
エ ビ ネ 展	4月22日 ～4月25日	日本の野生ランの中で最も美しく、花色の多いエビネを展示した。
春 の 山 野 草 展	4月22日 ～4月26日	春咲きの山野草を野趣あふれる鉢作りで展示した。
ク レ マ チ ス 展	4月29日 ～5月7日	テッセンやカザグルマの名で親しまれる色とりどりの大輪の花が美しいクレマチスの仲間を展示した。
セ ッ コ ク ・ 長 生 蘭 展	5月9日 ～5月14日	日本の野生ランであるセッコクと其中で斑入りなどの特徴を持ち長生蘭と呼ばれる品種を展示した。
遅咲きクレマチス展	5月13日 ～5月16日	小型で可愛らしいヴィチセラ系クレマチスや遅咲き大輪系を中心に、美しいクレマチスの仲間を展示した。
初夏の小品盆栽展	6月10日 ～6月12日	フウチソウやツツジなど、初夏に見ごろの植物を小鉢仕立てで展示した。
ウ チ ョ ウ ラ ン 展	6月13日 ～6月22日	初夏に可憐な花を咲かせる小型の野生ランであるウチョウランを展示した。
ボタニカルアート作品展	9月23日 ～10月19日	ボタニカルアート(植物細密画)教室の作品を展示した。
サボテン・多肉植物展	10月7日 ～10月22日	変化に富んだサボテンや多肉植物を展示した。
秋 の 山 野 草 展	10月14日 ～10月19日	秋咲きの山野草を野趣あふれる鉢作りで展示した。
野 生 き の こ 展	10月21日 ～10月25日	広島県に自生する様々なきのこを展示した。
ハンギングバスケット作品展	10月28日 ～11月5日	ハンギングバスケットを展示し、作り方などを紹介した。
趣味のボタニカルアート展	10月28日 ～11月23日	ボタニカルアート(植物細密画)を展示した。
寒 蘭 展	11月11日 ～11月19日	東洋蘭の中でも特に清楚で気品のある寒蘭を展示した。
私の好きな花たちの写真展	11月25日 ～12月24日	身近な植物を題材とした写真を展示した。
新 春 小 品 盆 栽 展	1月6日 ～1月8日	松・竹・梅など、新春を飾るにふさわしい植物を小鉢仕立てで展示した。
お も と 名 品 展	2月7日 ～2月13日	葉の斑入り模様や形の変化が面白い万年青を展示した。
フラワーデザイン展	2月17日 ～2月23日	切り花やドライフラワーなど様々な素材を生かしたフラワーデザインの作品を展示した。

(ウ) 植物友の会の活動



会員内訳（個人会員：93 人、家族会員：24 家族 57 人）

名 称	時 期	内 容	参加者数
広島市植物公園 植物友の会例会	5月14日	春～初夏の園芸作業、園内見所ガイド	33 人
	7月16日	夏の園芸作業、植物クラフト作り勧誘	28 人
	9月10日	秋の園芸作業、友の会情報交換会	33 人
	11月12日	特別講義（講師：糀原美恵子氏） 「ハーブとスパイスの解説と、これを使ったリース作り」	29 人
	1月14日	冬の園芸作業、園内見所ガイド	35 人
	3月10日	総会、園内見所ガイド	34 人
会 誌 の 発 行	年 4 回	植物の話題や友の会の活動、植物公園の出来事などを載せた会誌「はなの輪」を発行した。	春号 400 冊 夏号 400 冊 秋号 400 冊 冬～初春号 400 冊
野 外 観 察 会	6月4日 9月30日	植物や自然についての理解や知識を深めるため、自然景勝地等に生育する植物を観察した。	23 人 20 人

(エ) 講座その他催し物の開催

a 講座



名 称	時 期	内 容	参加者数
ガーデニング講座 ～基礎から応用まで～	4月15日	多肉植物のリースの制作 講師：ハンギングバスケットマスター 矢城由美子氏	20 人
	11月25日	初冬のハンギングバスケット作り 講師：ハンギングバスケットマスター 丸内久美子氏	15 人
暮らしに役立つ ハーブ講座	6月24日	ハーブの苔玉作りについて講義と実習を行った。 講師：糀原美恵子氏	30 人
	7月1日	インスタント・ポプリの基作りを行った。 講師：糀原美恵子氏	28 人
	7月8日	夏のラベンダー・トピアリーの壁飾り作りを行った。 講師：糀原美恵子氏	30 人

b 講習会・実演会



名 称	時 期	内 容	参加者数等
さくら写真撮影講習会	4月1日 4月8日	初心者向けにサクラの写真の撮り方を解説した。 講師：新田フォトスタジオ 新田英樹氏	21人 9人
エビネ実演会	4月23日	エビネの育て方を実演解説した。 講師：安芸えびね研究会会員	50人
春の山野草実演会	4月23日	春の山野草の栽培方法を実演解説した。 講師：広島山草同好会 縄田卓生氏	64人
洋ラン栽培講習会	4月30日	展示に使用したランを使った講習会を開催した。	14人
クレマチス実演会	5月3日	クレマチスの育て方を実演解説した。 講師：日本クレマチス協会広島支部 五弓莞氏	44人
バラ講習会	5月13日	「混植でのバラの楽しみ方」について詳しく解説した。 講師：横浜イングリッシュガーデン スーパーバイザー河井伸志氏	35人
セッコク実演会	5月14日	日本の野生ランであるセッコクの育て方を実演解説した。 講師：瀬戸内セッコク愛好会 山下義美氏	11人
ハーブ実演会	5月21日	いろいろなドリンクハーブを解説した。 講師：糺原美恵子氏	35人
アジサイ実演会	6月4日 6月11日	アジサイの育て方を実演解説した。	30人 29人
ハナショウブ観賞会	6月10日	ハナショウブの育て方や楽しみ方について解説し、観賞を行った。	15人
小品盆栽実演会	6月10日 1月7日	小品盆栽の仕立て方、育て方を実演解説した。 講師：広島小品盆栽会会長 野崎信平氏	9人 20人
アリ植物実演会	7月15日	アリ植物の魅力を紹介し、栽培方法や楽しみ方を実演解説した。	2人
食虫植物実演会	8月12日	食虫植物の魅力を紹介し、栽培方法を実演解説した。 講師：広島食虫植物同好会会員 安西秀礼氏	140人
多肉植物寄植ワークショップ	10月14日	エケベリアなど多肉植物の寄せ植えについてワークショップを行った。 講師：林哲治氏、青木晋氏	28人
秋の山野草実演会	10月15日	秋の山野草の栽培方法を実演解説した。 講師：広島山草同好会 縄田卓生氏	22人

名 称	時 期	内 容	参加者数等
花 と 緑 の 講 習 会	10～11月	秋のグリーンフェア期間の平日にミニ講座を行った。	合計 59 人
園 芸 ミ ニ 講 座 「 秋・冬の多肉植物の魅力 」	10月30日	秋冬に紅葉する多肉植物の特徴、手入れについて解説した。	27 人
園 芸 ミ ニ 講 座 「 ランの植え替え 」	10月31日	ランの植え替えについて解説した。	9 人
園 芸 ミ ニ 講 座 「 鉢植えの秋バラ 花後の管理 」	11月1日	鉢植えの秋バラの花後の管理を解説した。	14 人
園 芸 ミ ニ 講 座 「 季節の花壇用草花解説 」	11月2日	季節の花壇用草花を解説した。	9 人
洋 ラ ン 実 演 会	11月5日	「秋の洋ラン展」に合わせ、洋ランの育て方等を実演解説した。 講師：広島洋蘭倶楽部会長 山口祐氏	10 人
	2月18日	「春の特別ラン展」に合わせ、デンドロビウムの植え替え等を実演解説した。 講師：広島洋蘭倶楽部会長 山口祐氏	32 人
	2月23日	「春の特別ラン展」に合わせ、洋ランの植え替え等を実演解説した。 講師：広島洋蘭倶楽部会員 橋本輝彦氏	25 人
	2月24日	「春の特別ラン展」に合わせ、デンドロビウムの植え替え等を実演解説した。 講師：広島洋蘭倶楽部会長 山口祐氏	27 人
	2月25日	「春の特別ラン展」に合わせ、洋ランの育て方等を実演解説した。 講師：広島洋蘭倶楽部会員 松本広樹氏	25 人
ボ タ ニ カ ル アー ト 色 付 け 体 験	11月12日	ボタニカルアート(植物細密画)の色付けを解説し、参加者に体験してもらった。 講師：花も実もある会会員	23 人
寒 蘭 実 演 会	11月12日	寒蘭の育て方を実演解説した。 講師：広島和蘭会会員 山本喜一郎氏	6 人
クリスマスリース作り講習会	11月18日	クリスマスリースの作り方を解説した。 講師：公益社団法人日本フラワーデザイナー協会 川原俊子氏	32 人
植物写真撮影講習会	11月26日	植物の写真の撮り方を解説した。 講師：新田フォトスタジオ 新田英樹氏	22 人
ショコラミルによる チョコ製造体験	2月10日	専用石臼「ショコラミル」を使い、チョコレート作りの体験を行った。 講師：広島大学名誉教授 佐藤清隆氏、 越智美久里氏	58 人
お も と 実 演 会	2月11日	おもと(万年青)の栽培管理を実演解説した。 講師：日本おもと協会広島支部会員 西永祐司氏	6 人

名 称	時 期	内 容	参加者数等
フラワーデザイン実演会	2月18日	フラワーデザイン作品制作のデモンストレーションを行った。 講師：公益社団法人日本フラワーデザイナー協会会員 益田加代子氏、荒東和美氏	50 人
洋 ラ ン 栽 培 講 習 会	3月9日	展示に使用したランを使った講習会を開催した。	151 人
シイタケ栽培講習会	3月20日	シイタケの植菌とその後の管理方法を解説した。 講師：広島県森林インストラクター くぬぎの会会員	60 人
草 木 染 講 習 会 (子ども織物教室)	3月24日	小さな織物を使って、オリジナルの織物マット作りを行った。 講師：広島草木染の会代表 寺田勝彦氏	15 組 32 人

c 講演会・展示解説



名 称	時 期	内 容	参加者数
特別企画展「牧野富太郎と広島」 ギャラリートーク	4月22日	特別企画展「牧野富太郎と広島」の展示内容について解説した。	18 人
特 別 企 画 展 「牧野富太郎と広島」講演会	5月5日	「牧野富太郎博士の頭のなかー植物の特徴をまとめるとはどういうことかー」と題した講演を行った。 講師：広島大学名誉教授 関太郎氏	150 人
洋 ラ ン 講 演 会	5月7日	「春の特別ラン展」の出品花の解説を行った。 講師：広島洋蘭倶楽部会員 橋本輝彦氏	28 人
ハーブ展ギャラリートーク	5月20日	ハーブ展について解説した。	12 人
アリ植物とカラフルリーフ展 ギャラリートーク	7月1日	アリ植物とカラフルリーフ展の展示内容について担当職員が解説を行った。	12 人
特 別 企 画 展 「牧野富太郎と広島」講演会	7月2日	「牧野富太郎博士94年の生涯」と題した講演を行った。 講師：高知県立牧野植物園 藤井聖子氏	130 人
ア リ 植 物 講 演 会	7月9日	アリ植物について、自生地での写真などを交えながら、アリ植物の魅力や面白さについて講演を行った。 講師：伊藤蟻植物農園代表 伊藤彰洋氏	6 人
変 化 朝 顔 展 解 説	8月20日	変化アサガオの育て方と変化朝顔展について解説した。	25 人
薬 用 植 物 展 解 説	9月10日	薬用植物展について解説した。	0 人
野 生 きのこ展 ギャラリートーク	10月22日	野生きのこ展の展示解説を行った。 講師：広島きのこ同好会会員 井本敏和氏	35 人

名 称	時 期	内 容	参加者数
寄 植 え 講 演 会	11月4日	チェルシーフラワーショー作庭・福岡市 一人一花運動の取組について事例を交えて報告するとともにハンギングバスケット作製デモンストレーションを行った。 講師：（一社）日本ハンギングバスケット協会理事 石井康子氏	40 人
カカオニブ講演会	2月11日	絵本「たくさんの不思議：ひと粒のチョコレートに」の朗読とチョコづくりの体験を行った。 講師：広島大学名誉教授 佐藤清隆氏	74 人
明治食育セミナー 「発見！チョコレートのひみつ」	2月12日	カカオ豆からチョコレートができるまでの一連の工程を紹介した。 講師：（株）明治 管理栄養士 米田麻衣氏	80 人
森崎浩司氏トークショー＆親子ふれあいサッカー体験	2月18日	サンフレッチェ広島アンバサダー森崎浩司氏のトークショー（先着100名）を行い、続けて親子ふれあいサッカー体験（各先着親子10組、未就学児とその保護者、合計30組）を行った。	トークショー 90 人 親子ふれあいサッカー体験 18 組
「草木染の世界」展 ギャラリートーク	3月24日	「草木染の世界」展の作品などについて解説した。 講師：広島草木染の会代表 寺田勝彦氏	13 人

d コンクール

名 称	時 期	内 容	参加者数等
ラン 審 査 会	4月29日 10月28日 2月16日	ランの栽培技能の向上を図るため、ラン展展示協力団体から出品されたランを審査し、優秀作品を表彰した。	19 人 97 点 16 人 68 点 43 人 261 点 計 78 人 426 点
植物写真コンテスト	9月2日 ～11月30日	植物公園の植物や園内風景を題材とした写真を募集し、優秀作品を表彰した。	応募 351 点 入選 47 点
写 生 大 会 (佐伯区役所共同事業)	11月19日	園内で絵を描いてもらい、優秀作品を表彰した。	応募 151 点 入選 18 点

e 観察会

名 称	時 期	内 容	参加者数
職 員 に よ る 植 物 う ん ち く 語 り	4月9日	特別企画展「牧野富太郎と広島」直前情報	54 人
	4月25日	イングリッシュガーデンのメリット・デメリット	16 人
	5月6日	四季の見どころガイド①	15 人
	5月23日	春バラ	35 人
	6月3日	ための生き方、ためない生き方～植物の生き残り戦略	62 人
	6月27日	アートの中の植物	20 人
	7月2日	蛇紋岩植物をめぐる冒険	56 人
	7月25日	食虫植物の魅惑の世界	33 人

名 称	時 期	内 容	参加者数
職 員 に よ る 植 物 う ん ち く 語 り	8月5日	スイレンの世界	46 人
	8月22日	色んなベゴニア大集合	18 人
	9月9日	夏の大温室散策	27 人
	9月26日	秋の草花花壇	21 人
	10月7日	蝶の集まる植物たち	54 人
	10月24日	サボテン・多肉植物展回想録	24 人
	11月11日	秋バラ	35 人
	11月28日	冬の鉢花と戸外の草花	22 人
	12月3日	コニファーの観察	30 人
	12月26日	来年の干支「辰」に因んだ植物・縁起物の植物	14 人
	1月6日	写真コンテスト受賞作品で巡る植物公園の四季	18 人
	1月23日	ケープバルブの魅力	20 人
	2月3日	春の特別ラン展を楽しむために	51 人
	2月27日	樹皮の観察	23 人
	3月2日	四季の見どころガイド②	24 人
	3月26日	”日本一のコレクション”ゼラニウム展解説	28 人
特別企画展「牧野富太郎と 広島」牧野博士足跡ツアー	5月28日	牧野博士が観察会を実施し「衣にすりし、 昔の里か燕子花」の句を詠んだ広島県唯一 のカキツバタ自生地、八幡湿原（芸北） と、宮島で観察会を実施した。	28 人
	6月4日		48 人
園 内 生 き 物 探 訪	6～1月	年8回、外部講師及び本園職員による 生きもの観察を行った。	合計 327 人
モリアオガエル観察のすすめ	6月3日	園内で見られるモリアオガエルなどの生き 物についてスライドで解説を行った。	6 人
冬 虫 夏 草 観 察 会	7月9日	園内に発生する冬虫夏草を散策しながら観察した。 講師：瀬戸内虫草団顧問 北野俊二氏	23 人
き の こ 観 察 会	10月21日	園内に自生するきのこを散策しながら観察した。 講師：広島きのこ同好会会員 井本敏和氏	19 人
野 鳥 観 察 会	1月8日	園内に飛来する野鳥を観察した。 講師：大丸秀士氏	40 人
みどりとむし講座 (植物園・昆虫館 共 同 事 業)	4～10月	昆虫館と共同で開催し、虫の観察だけ でなく植物と虫が深くかかわりあっ ていることを紹介した。	合計 239 人
春の植物と昆虫	4月23日	昆虫館周辺でチョウやハナバチなどの観察 とそれらが集まる植物について解説した。	29 人
カブトムシと クワガタムシ	7月30日	身近な昆虫であるカブトムシやクワガ タムシを題材として、昆虫が集まる植 物の紹介や説明、昆虫の特徴や育て方 等について展示資料館2階講堂で、こ んちゅう館の職員と一緒に解説した。	160 人
ドングリと虫	10月14日	昆虫館周辺でドングリのなる植物とそ れに関係する昆虫について観察・解説 した。	18 人

名 称	時 期	内 容	参加者数
アサギマダラ観察会	10月15日	園内に飛来するアサギマダラとその吸蜜植物フジバカマを観察した。	32 人
園 内 散 策 ～広島の絶滅危惧植物～	7月15日	身近な野草や園で調査・保全を行っている植物について、うらら池周辺、里山の野草園等を案内しながら解説した。	8人
あおぞら自然観察会 (動物園・植物園・昆虫館共同事業)	10月22日	自然に関する理解を深めるため、元宇品でミサゴやヤマトシジミ、オニヤブソテツ、海藻などを観察した。	20人
春の特別ラン展での 昆 虫 展 示 (植物園・昆虫館共同事業)	2～3月	植物公園と共同で開催し、植物公園で開催された「春の特別ラン展」に関連する昆虫の展示を行った。	8,249人 (期間中の入園者数)
紫の昆虫標本展示	2月17日 ～2月25日	植物公園のサンフレッチェ広島とコラボした春の特別ラン展(テーマ：ランで祝う新サッカースタジアム)で紫色の昆虫標本を展示した。	7,359人 (期間中の入園者数)
ハナカマキリ 生 体 展 示	2月17日 ～3月2日	植物公園の春の特別ラン展開催に合わせて、ランに擬態するハナカマキリ生体を展示した。	8,249人 (期間中の入園者数)

f 植物教室その他催し物



名 称	時 期	内 容	参加者数等
オリエンテーリング	5月4日 7月15日 ～8月31日 11月3日	みどりの日、サマーフェア、開園記念日にオリエンテーリングを開催し、参加者に記念品を進呈した。	800 人 3,571 人 1,000 人 計 5,371 人
お 茶 会	5月28日 6月4日 6月11日	ハナショウブウィーク&アジサイウィーク開催中にお茶会を開催した。 協力：宗澄の会	100 人 100 人 100 人 計 300 人
森 の 幼 稚 園	6月4日 10月8日	幼児と保護者を対象に園内の植物や自然を通じて、楽しく学ぶ機会を提供した。 講師：広島修道大学人文学部教育学科教授 松崎雅広氏	6組 16人 5組 21人
親子植物体験教室	7月29日	小学校1～3年生とその保護者を対象に、植物の観察などを通じて植物について楽しく学ぶ機会を提供した。	18組 42人
オオオニバス試乗体験会	8月8日 8月11日 8月13日 8月15日	小学生(低学年)以下を対象に、オオオニバスの葉に乗る体験会を実施した。	277 人 271 人 265 人 259 人 計 1,072 人

名 称	時 期	内 容	参加者数等
ジュニアプロジェクト	10月24日 11月8日 11月27日	ガイドボランティアが園内の植物や自然を通じて、植物や自然環境について楽しく学ぶ機会を提供した。	24人 33人 16人 計 73人
バオバブタッチングイベント	10月29日 11月4日	大温室のシンボルツリーであるオーストラリアバオバブをタッチできるイベントを開催した。	260人 290人
コスモスの摘み取り	11月5日	レストラン前のコスモス畑で、来園者にコスモスを摘み取り持ち帰ってもらった。	200人

(イ) 学校教育活動の受入れ



名 称	時 期	内 容	件 数 等
自然体験学習の受入れ	通 年	保育園、幼稚園、小・中学校が行う自然体験学習を受け入れるほか、オリエンテーリングの相談に応じ、植物や自然保護などについて指導した。	12件 1,253人
職場体験などの受入れ	通 年	中学校の職場体験や高等学校等のインターンシップを受け入れ指導した。	1件 2人

(ロ) 企画展その他展示会の開催



名 称	時 期	内 容
ゼ ラ ニ ウ ム 展	4月1日 ～4月16日 3月2日 ～3月31日	多彩な花色と葉の模様・色が美しいゼラニウムや、豪華なペラルゴニウムなどを展示した。
サ ク ラ ソ ウ 展	4月15日 ～4月19日	花の形や色の変化に富むサクラソウを展示した。
特 別 企 画 展 「牧野富太郎と広島」	4月15日 ～6月7日 6月17日 ～9月18日	令和5年度上期NHK朝の連続テレビ小説「らんまん」のモデルとなった植物学者「牧野富太郎」の人物とその功績、広島での足跡を紹介し、植物に興味をもつきっかけづくりとした。
春 の 洋 ラ ン 展	4月29日 ～5月7日	春咲きのランの原種や交配種を展示し、ランの魅力を紹介した。
ローズフェスティバル	5月6日 ～5月31日	バラの展示を中心に、講習会やガイドツアーを行った。
ハ ー ブ 展	5月16日 ～5月28日	ハーブとして利用されている植物とその利用方法を紹介した。
ア ジ サ イ 展	5月27日 ～7月2日	花の色の变化に富むアジサイの原種、園芸品種などを展示した。

名 称	時 期	内 容
セントポーリアとイワタバコの仲間展	5月31日 ～6月11日	可憐で人気のあるセントポーリアやその他のイワタバコ科の植物を展示した。
ア リ 植 物 と カ ラ フ ル リ ー フ 展	6月24日 ～7月17日	園が所有するアリ植物や葉の色が様々で美しいカラフルリーフなどを中心に展示した。
盛夏のスイレン展	7月8日 ～9月24日	睡蓮鉢を用いて、温室内外でスイレンを展示し、来園者に夏の涼を提供した。睡蓮鉢でのコンパクトな草姿と常設の熱帯スイレン温室の大株の対比も紹介した。
世界の食虫植物展	7月20日 ～8月15日	ハエトリグサやウツボカズラなど、子どもたちに人気のある世界の食虫植物を展示した。
変 化 朝 顔 展	8月19日 ～8月27日	花や葉が変化した珍しいアサガオを展示した。
薬 用 植 物 展	9月2日 ～10月1日	ウコンやキキョウなど薬用として用いられる植物を展示した。
秋 の 洋 ラ ン 展	10月28日 ～11月5日	カトレヤやパフィオペディラムなど洋ランの園芸品種と珍しい原種を展示した。
キ ク 展	10月28日 ～11月19日	日本と中国の交流の証である中国の菊花や日本園芸菊などを展示した。
クリスマス飾るフラワー展	11月23日 ～12月25日	シクラメンやポインセチアなど、クリスマスでよく使われる植物や飾りを展示した。
冬 の 鉢 花 展	1月6日 ～2月4日	パンジー、ビオラやカランコエをはじめとする冬の鉢花を展示し、品種や栽培方法などをパネルで解説した。
植物写真コンテスト作品展	1月13日 ～2月12日	園内の植物や風景をテーマに募集した写真コンテストの入賞作品を展示した。
写生大会入賞作品展 (ロ ビ ー 展)	1月20日 ～2月8日	佐伯区と共催で実施した写生大会の入賞作品を展示した。

(キ) 広報普及



名 称	時 期	内 容	件 数 等
マスコミによる広報	通 年	テレビ局、ラジオ局、新聞社、出版社などを通じて、植物の見頃の時期や催し物などについては毎月、珍しい植物の開花状況などについては随時、広報した。	テレビ 34件 ラジオ 15件 新聞 14件 情報誌等 140件 計 203件
催し物案内ポスター・P R 用 チ ラ シ の 配 布	通 年	催し物案内ポスターやP R 用 チ ラ シ を作製し、公共施設などに配布した。	ポスター 542 か所 チラシ 1,465 か所
植物写真パネルなどの貸出し	通 年	植物や園内風景を撮影した写真パネル・画像データを公共施設や事業所などに貸し出し、植物公園のP R に努めた。	3 か所 50 点

名 称	時 期	内 容	件 数 等
ホームページによる広報	通 年	ホームページ（ブログを含む）により施設の紹介、催し物、開花状況などの最新情報を提供した。内容をリニューアルし、開園状況やイベント案内等を分かりやすくした。さらに、スマートフォン用ページを新設した。	アクセス件数 316,059 件
X（旧 Twitter）による広報	通 年	X（旧 Twitter）により施設の紹介、催し物、開花状況などの最新情報を提供した。	投稿件数 317 件
Instagramによる広報	通 年	Instagramにより施設の紹介、催し物、開花状況などの最新情報を提供した。	投稿件数 233 件
Facebookによる広報	通 年	Facebookにより施設の紹介、催し物、開花状況などの最新情報を提供した。	投稿件数 264 件
有料の広告媒体による広報	通 年	イベントチラシの新聞折込等を行った。	4 回
マツダスタジアムにおける P R 活 動	6 月 13 日	マツダスタジアム内で「みどり生きものきょうしつ」を開催し、植物の展示や解説、植物公園のPRを行った。	—

(ク) 出版物の発行



名 称	時 期	内 容	発行部数
「 紀 要 」 「 栽 培 記 録 」 「 栽 培 の 手 引 き 」 「 植 物 観 察 ノ ー ト 」 「 種 子 目 録 」 「 あ ら ま し 」 広報誌「はなの輪」	通 年	各種の出版物を発行、配布して、国内外の植物園、大学、各関係機関との交流を深め、植物園事業の発展を図るとともに、植物に関する知識の普及及び植物園事業の周知を図った。	200 部 200 部 HPで提供 HPで提供 電子メールで提供 250 部 4,000 部

(ケ) 植物に関する相談



名 称	時 期	内 容	件 数
植 物 園 芸 相 談	通 年	植物の栽培方法など植物に関する相談等を受けて助言、指導した。	1,468 件

④ 昆虫館の管理運営〔公2事業〕

広島市から指定管理者として指定（指定期間：令和4年4月1日～令和9年3月31日）を受けた昆虫館における昆虫の飼育・展示、収集及び飼育管理、入館料の収受、施設の維持管理などを行い、入館者が施設を安全かつ快適に利用できるよう努めた。

なお、広島市による屋根改修工事（第Ⅱ期）の施工に伴い、来館者の安全を確保するため、令和5年11月6日から令和6年1月31日まで臨時休館した。

イベントや昆虫に関する情報提供はSNSやホームページ等により積極的に行うなど、利用促進につながる活動に取り組んだ。

また、他団体との連携や調査・研究の成果を生かして、希少昆虫の生息域内外保全に積極的に関わり、生物多様性の保全に貢献するとともに、社会教育、学校教育活動への協力、催し物の開催など各種事業を植物公園、安佐動物公園、農林水産振興センター、5-daysこども文化科学館等と協働して実施し、昆虫に関する知識及び昆虫愛護思想の普及、かん養並びに昆虫愛好者の育成を図った。

ア 昆虫の飼育・展示など

(ア) 昆虫の飼育・展示



〔展示場所〕 主な展示昆虫		内 容	
〔パピヨンドーム〕	チ ョ ウ 類	年間を通して亜熱帯の花が咲く温室に、オオゴマダラ、シロオビアゲハ、ツマベニチョウなど、10種500頭以上の沖縄産の美しい種を放蝶し、吸蜜、飛翔、求愛、交尾、産卵などチョウの様々な行動を目の当たりに観察できる展示を行った。チョウが観察しやすいよう、景観の改修にも努めた。	
	イトトンボ類	キイトトンボなどイトトンボ類の季節展示に取り組んだ。	
	ナナフシ類	タイワントビナナフシの展示を行った。	
〔昆虫ランド〕	外国産昆虫		
	ヘラクレスオオカブトムシ、ニジイロクワガタ、ハナカマキリ、ジャイアントウッドローチ、オオコノハムシなど、人気のある外国産昆虫を展示した。		
	陸生昆虫	夜行性昆虫	オオクワガタ、カブトムシ、マダラコオロギ、フタホシコオロギなど夜に活動する昆虫を照明により昼夜を反転させて展示した。
		昼行性昆虫	トノサマバッタ、ショウリョウバッタ、ツダナナフシ、ナナホシキンカメムシなど昼に活動する昆虫を展示した。
水生昆虫		ゲンゴロウ、タガメ、クロスジギンヤンマ幼虫（ヤゴ）などの水生昆虫をそれぞれの生息環境にすむその他の水生生物（オタマジャクシ、魚類）とともに展示した。	

〔展示場所〕 主な展示昆虫			内 容
〔昆虫ランド〕	旬の昆虫	季節の昆虫	カイコガの幼虫、広島に生息するカマキリ全種（８種）など、身近な季節の移り変わりを感じさせる昆虫を展示した。
		外来昆虫	ヨコヅナサシガメ、キマダラカメムシなど近年、身近に見られるようになった外来種を展示した。
	社会性昆虫		エゾヤマアカアリ、ニシムネアカオオアリなど、巣を作り社会生活をする昆虫群を、巣を再現した専用テラリウムで展示した。
	昆虫以外の陸生節足動物		同じ節足動物に属し、昆虫と間違えやすいダンゴムシ、サソリ、タランチュラなど、昆虫以外の陸生節足動物を展示した。
〔展示ケース〕	広島県の希少昆虫		広島県のみが生息する絶滅危惧昆虫のヒョウモンモドキ約５０頭を、成虫の発生時期である６月に展示した。

【昆虫等の飼育頭数】

（令和６年３月３１日現在）

区 分	種 類	頭 数
チョウ類など(パピヨンドーム)	12 種	1,040 頭
外 国 産 昆 虫	55 種	710 頭
夜 行 性 昆 虫	43 種	391 頭
昼 行 性 昆 虫	14 種	219 頭
水 生 昆 虫	9 種	83 頭
旬 の 昆 虫	1 種	10 頭
社 会 性 昆 虫	1 種	1 群
昆虫以外の陸生節足動物	5 種	27 頭
広 島 県 の 希 少 昆 虫	1 種	—
合 計	141 種	2,480 頭 1 群

(イ) 昆虫の収集及び飼育管理



名 称	内 容
展示昆虫の維持及び種の保存	計画的な採集や交換などにより、累代飼育を適正に行い、展示昆虫を維持するとともに、保護が必要な昆虫を飼育し、種の保存に取り組んだ。
近交弱勢防止のための チョウその他の昆虫の採集	累代飼育の結果生じる近交弱勢を防止するため、必要に応じて、広島県や沖縄県などでチョウその他の昆虫を採集した。
昆 虫 の 交 換	近交弱勢などの防止及び展示種の充実のため、他の昆虫展示施設と昆虫を交換した。 譲受け：ゲンゴロウなど2種 譲渡し：ツダナナフシなど38種
チョウその他の 昆虫の累代飼育	他の動物に比べ比較的寿命の短い昆虫を周年展示するために、チョウ類約10種、その他の昆虫等約100種を累代飼育した。
広島 の 自然環境の 調査と情報発信	広島の昆虫とそれを取り巻く自然の現状を調査し、その情報は展示や講座等で発信し、SDGs ⑤「陸の豊かさを守ろう」の普及啓発に努めた。
外国産昆虫の導入と飼育	インカツノコガネ等の新たな種を導入した。ユウレイレアシナナフシの累代飼育の確立に努めた。
昆 虫 の 飼 育 管 理	成育状態を良好に保つため、温度・湿度の管理、消毒等を行い、チョウその他の昆虫の飼育及び展示に不可欠な蜜源植物及び食草を周年栽培・維持管理し、飼育環境の向上を図った。

(ウ) 入館料の収受（利用料金制）

【入館状況】

区 分					入館者数	使用料	
有 料 入 館 者	個人		大人	18歳以上65歳未満	510 円	19,055 人	9,718,050 円
				65歳以上	170 円	1,910 人	324,700 円
			小人	18歳未満（小・中学生を除く）	170 円	129 人	21,930 円
	年間 パス ポート	購入	大人	18歳以上65歳未満	1,560 円	937 人	1,461,720 円
				65歳以上	510 円	45 人	22,950 円
			小人	18歳未満（小・中学生を除く）	510 円	2 人	1,020 円
		提示	大人	18歳以上65歳未満	—	4,982 人	— 円
				65歳以上	—	304 人	— 円
			小人	18歳未満（小・中学生を除く）	—	3 人	— 円
	団 体		大人	18歳以上65歳未満	430 円	355 人	152,650 円
				65歳以上	130 円	38 人	4,940 円
			小人	18歳未満（小・中学生を除く）	130 円	0 人	0 円
	小 計				27,760 人	11,707,960 円	
減免等入園者（小・中学生、社会福祉施設、その他）					41,493 人	—円	
合 計					69,253 人	11,707,960 円	

(エ) 利用促進

名 称	時 期	内 容	販売枚数等
年間パスポートの販売 (動物公園・植物公園・昆虫館共同事業)	通 年	より多くの方に昆虫館の魅力に触れる機会を提供するため、動物公園・植物公園と共通して利用できる年間パスポートを販売し、利用者に対するサービスの向上及びリピーターの確保を図った。なお、屋根等修繕工事に伴う臨時休館の対応として、パスポート保持者に無料入館券(3枚組)を配布した。	984枚
外国人観光客誘致の促進	通 年	和・英文リーフレットを森林公園内・昆虫館内、パークینگエリアや公共施設に設置し、入館者増に努めた。	発行部数 800部
休 館 日 の 開 館	4月5日 5月6日 7月26日 8月2日 8月9日 8月16日 8月23日 10月4日 10月11日 10月18日 10月25日 3月27日	花見シーズン、ゴールデンウィーク、夏休み期間、体験学習の実施依頼の多い秋の期間の休館日を開館し、利用者に対するサービスの向上を図るとともに、入館者増に努めた。	入館者数 1,966人

(オ) 施設の維持管理・館内サービス

名 称	時 期	内 容
施 設 の 維 持 管 理	通 年	入館者に安全・快適な観覧環境を提供するため、館内の清掃・警備を行った。また、建物や機械・電気などの設備を良好な状態で使用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。
利 用 案 内	通 年	入館者が快適に観覧できるよう、標識、リーフレット、館内放送などにより利用案内を行った。
緊急時などの対応	通 年	傷病者の救護、迷子の搜索・保護、拾得物・遺失物の管理などを行った。
展 示 解 説 の 充 実	通 年	昆虫の魅力や希少昆虫の現状を伝えるための展示解説板を、様々な年齢層を対象とするためにイラストや画像、動画を用いた内容で常時更新した。
入 館 者 へ の 涼 感 サ ー ビ ス の 提 供	7~9月	夏期の暑さ対策として、昆虫館入口付近及びパピヨンドーム内にミスト発生装置を設置した。

(カ) 施設の機能充実

名 称	時 期	内 容
みどり生きものサポーター・昆虫館募金等による施設の機能充実	通 年	より魅力的な施設を入館者に提供するため、寄附金を募った。寄附金は次年度以降に繰り越し、昆虫好物樹木園の整備等に充てていく予定である。

イ 生物多様性の保全

(ア) 他団体との連携



名 称	時 期	内 容	件 数
保護活動に関する情報交換	7月21日	保全地域協議会とヒョウモンモドキの調査や生息地の環境保全活動や情報交換等を行った。	1件

(イ) 生息域内保全



名 称	時 期	内 容	件 数
生息地における絶滅危惧昆虫の保全	10月16日	昆虫館ボランティアとの協働で赤トンボ類の調査を行った。	東広島市志和 1件

(ウ) 生息域外保全



名 称	時 期	内 容	内訳等
生息地以外における絶滅危惧昆虫の保全	通 年	広島県のみに生息し、国内希少野生動植物種に指定されているヒョウモンモドキの生息地の環境整備を行うとともに、館内で累代飼育し、幼虫を生息地に放虫するなど、保全に取り組んだ。また、成虫の出現期の6月には専用ケージで生体展示を行った。	調査 6月 生息域外展示 6月 環境整備 4・11月 放虫 7・11月 3,200個体

(エ) 昆虫に関する調査・研究



名 称	時 期	内 容
昆虫に関する調査・研究	通 年	広島県、沖縄県などで、昆虫の種類や数の調査、採集を行い、ヒョウモンモドキなどの希少昆虫や分布上貴重な昆虫の生息状況を記録した。また、採集した昆虫を飼育して累代飼育の確立のための研究を行うとともに、採集した昆虫の一部を標本資料として保管した。

名 称	時 期	内 容
各種資料の収集	通 年	昆虫に関する書籍・雑誌・資料を収集し、累代飼育などの調査・研究に役立てた。
研究活動発表会 (動物園・植物園・昆虫館共同事業)	2月3日	昆虫の飼育展示活動などの成果を市民に情報提供した。当館は企画展「コガネムシの世界」～動物園と昆虫館の奇跡のコラボ～を演題に発表した。 (参加者 44人)

ウ 教育・普及

(ア) 社会教育への協力



名 称	時 期	内 容	件数等
講習会・観察会への講師の派遣	通 年	文化施設や公共施設などが実施する昆虫及び自然環境に関する講習会・自然観察会に職員を講師として派遣した。	5件 176人

(イ) 学校教育への協力



名 称	時 期	内 容	件数等
出張自然体験活動	5～3月	命の大切さを伝えるため、保育園・幼稚園、小学校に職員を派遣し、昆虫とのふれあい体験や昆虫をテーマにした講座を行った。	58件 6,502人
教材生物バザールへの参加	5月23日	県立教育センターの要請に基づいて職員を派遣し、教材として昆虫に関する資料を提供した。 (於：東広島市)	160人

(ウ) 市民・団体との協働



名 称	時 期	内 容	参加者数等
まんかい桜むしみくじ (森林公園・昆虫館協働事業)	4月1日 ～4月9日 3月16日 ～3月31日	園内にある桜と昆虫をテーマにしたおみくじを配布した。	4月 607人 3月 387人
昆虫館ボランティア	4月22日 7月21日 9月24日 10月15日 11月19日 11月26日	ボランティアを募り、自然や昆虫に関する専門知識を指導し、広島県内の希少昆虫の保護活動や調査等を行った。(ボランティア総数34人)	活動回数 6回 活動延べ人数 32人

名 称	時 期	内 容	参加者数等
市民の里@安佐観察会 (農業振興センター協働事業)	6月11日 7月29日	市民の里@安佐で、6月は「モリアオガエルと初夏の昆虫」7月は「夏の夜の昆虫観察会」を開催した。	6月 33人 7月 30人
セタイベント (森林公園・昆虫館協働事業)	6月24日 ～7月7日	虫をモチーフにした短冊を設置して、自由に願いを書き笹に装飾できるコーナーを作った。	2,570人 (期間中の入館者数)
里山整備士講座 (農業振興センター協働事業)	7月1日	農業振興センター登録の里山整備士を対象に「里山と昆虫」について講習会を実施した。	11人
科学の祭典 (こども文化科学館・昆虫館協働事業)	10月28日	5-daysこども文化科学館で行われる「科学の祭典」に昆虫館ブースを出展した。	55人
ハロウィンクイズラリー (森林公園・昆虫館協働事業)	10月29日	ハロウィンに合わせて飾りつけた館内で、クイズラリーを実施した。	160人
森の七福神めぐり (森林公園・昆虫館協働事業)	1月7日 ～1月9日	昆虫館と公園を巡る昆虫や自然を七福神になぞらえたスタンプラリーを実施した。	208人
虫みくじ (森林公園・昆虫館協働事業)	1月7日 ～1月9日	昆虫おもしろ話の解説が付く新年の運勢を占う「虫みくじ」を配布した。	500人
バレンタインイベント (森林公園・昆虫館協働事業)	2月10日	バレンタインに合わせて森林公園と協働でイベントを行った。昆虫館ではハート形リースに多数集まったチョウと一緒に撮影ができるコーナーを設置し、来館者に楽しんでもらった。	278人
【臨時休館により中止した事業】 森のクラフト教室			

(エ) 昆虫館友の会の活動



会員内訳 (家族会員：30 家族 101 人)

名 称	時 期	内 容	参加人数等
野 外 観 察 会	5月14日	昆虫館周辺で初夏の昆虫の観察を行った。	65人
	6月25日	昆虫館周辺で梅雨時期の昆虫の観察を行った。	64人
	7月22日	市民の里@安佐で夏の昆虫の夜間観察を行った。	29人
	10月1日	市民の里@安佐で晩秋の昆虫の観察を行った。	41人
	2月25日	昆虫館周辺で冬の昆虫の観察、併せて飼育室の見学を行った	59人
講 習 会	12月3日	カブトムシや様々な昆虫のの標本づくり教室を実施した。	64人

(オ) 講演会その他催し物の開催

a 講座



名 称	時 期	内 容	参加者数等
虫 講 座 シ リ ー ズ	コガネムシの は な し	5月7日 春の企画展「コガネムシの世界」に合わせて、 コガネムシの生態や特徴等を解説した。	23 人
	昆 虫 標 本 の 作 り 方	8月5日 様々な昆虫の標本の作り方と標本の意義につ いて解説した。	36 人
	秋 の 鳴 く 虫	9月10日 秋の企画展「秋の鳴く虫」に合わせて、キリギ リスやコオロギの生態や特徴等を解説した。	27 人
	バ ッ タ の は な し	10月22日 「バッタ展」に合わせて、カマキリの生態や体 のつくり等を詳しく解説した。	14 人
	カブト・クワガタの 標本の作り方	2月11日 2月12日 カブトムシ・クワガタムシの標本の作り方と標 本の意義について解説した。	45 人
大人 の た め の 昆 虫 講 座	広 島 の 希 少 昆 虫	6月18日 当館で生息域外保全で飼育している成虫の展示 に合わせ、ヒョウモンモドキの生体と現状につ いて解説した。	7 人
	広 島 県 の チ ョ ウ	11月5日 広島県に分布するチョウの生態について詳しく 解説した。	11 人
【臨時休館により中止した事業】 大人のための昆虫講座「昆虫の体のつくり」			

b コンクール

名 称	時 期	内 容	参加者数等
むしむし動画コンテスト	(応募期間) 5月1日 ～11月10日 (作品展) 2月1日 ～3月31日	昆虫を題材とした動画コンテストを実施し、優 秀作品を表彰した。 優秀作品は作品展で公開した。	応募者数 10 人 応募点数 13 点 入賞点数 6 点

c 観察会



名 称	時 期	内 容	参加者数等
みどりとむし講座 (植物園・昆虫館 共同事業)	4~10月	植物公園と共同で開催し、植物と昆虫が深くか かわりあっていることを解説しながら観察会や 講座を実施した。	合計 239人
春の植物と昆虫	4月23日	昆虫館周辺でチョウやハナバチなどの観察とそ れらが集まる植物について解説した。	29人
カブトムシと クワガタムシ	7月30日	植物公園でカブトムシやクワガタムシの観察と それらが集まる樹木について解説した。	160人
ドングリと虫	10月14日	昆虫館周辺でどんぐりのなる植物とそれに関係 する昆虫について観察・解説した。	18人
アサギマダラ観察会	10月15日	植物公園でアサギマダラの観察とそれらが集ま る花について解説した。	32人
樹木園ツアー	5月13日 6月24日 10月7日	普段は公開していない樹木園を散策しながら、 季節の昆虫や自然について解説した。	70人
虫 さ が し	5月28日 7月16日 9月16日	昆虫館周辺及び樹木園で、家族を対象に、昆虫 の観察と名前調べを行った。	127人
あおぞら自然観察会 (動物園・植物園 ・昆虫館共同事業)	10月22日	自然に関する理解を深めるため、元宇品で動 物・植物・昆虫の観察会を実施した。	20人
春の特別ラン展での 昆虫展示 (植物園・昆虫館 共同事業)	2~3月	植物公園と共同で開催し、植物公園で開催され た「春の特別ラン展」に関連する昆虫の展示を 行った。	8,249人 (期間中の入園者数)
紫の昆虫標本展示	2月17日 ~2月25日	植物公園のサンフレッチェ広島とコラボした春 の特別ラン展(テーマ:ランで祝う新サッカー スタジアム)で紫色の昆虫標本を展示した。	7,359人 (期間中の入園者数)
ハナカマキリ 生体展示	2月17日 ~3月2日	植物公園の春の特別ラン展開催に合わせて、ラン に擬態するハナカマキリ生体を展示した。	8,249人 (期間中の入園者数)

d 昆虫教室その他催し物



名 称	時 期	内 容	参加者数等
飼育室ツアー	4月8日 11月4日 2月3日 2月24日 3月2日 3月9日 3月16日	普段は公開していない裏側を公開し、飼育や生 体の維持管理について解説した。 感染症予防の観点から虫タッチを中止した 2/24、3/9、3/16は、飼育室ツアーを代替イベ ントとして実施した。	157人

名 称	時 期	内 容	参加者数等
むしの日クイズラリー	6月4日	むし(6/4)の日に昆虫への興味と知識を深められるクイズラリーを実施した。	82人
昆虫館お仕事体験 (寄附者対象)	6月8日 6月11日 7月26日 9月10日 3月27日	昆虫への理解を深めるため、餌やり、放蝶など昆虫の飼育について指導した。	15人
夏休み子ども昆虫相談	7月15日 ～8月31日	夏休みの自由研究の疑問点など、昆虫に関する相談を受けて助言、指導した。	13人
むしむしサマースクール	8月12日 8月19日	小学生を対象として、飼育や採集等、昆虫館のお仕事体験を実施した。	9人
森 の 音 楽 会	9月24日	サックス四重奏団を招き、自然に関係する曲を演奏する音楽会を開催した。	60人
ぱたぱたバタフライ	2月4日 2月18日 3月3日 3月17日	紙とストロー、竹ひごを材料に、はばたくチョウのおもちゃを作る工作教室を行った。完成後はパピヨンドームで動かすとオオゴマダラが寄ってくることを紹介し、体験してもらった。	244人
カブトムシクラブ	3月10日	カブトムシの飼育方法について解説するとともに、幼虫を配布した。	17人
【臨時休館や感染症予防の影響により中止した事業】 クリスマス蜜蝋キャンドルづくり、虫タッチ			

(カ) 学校教育活動の受入れ



名 称	時 期	内 容	参加者数等
自然体験学習 の 受 入 れ	4～6月 9～11月 2～3月	幼稚園、保育園や小・中学校等が行う自然体験学習を受け入れ、昆虫の観察やふれあい体験を行った。	2,529人

(キ) 企画展その他展示会の開催



名 称	時 期	内 容
コガネムシの世界	4月22日 ～5月14日	国内外のコガネムシ科の生体展示のほか、コガネムシの生態について標本やパネルを用いて詳しく解説した。また、動物公園とのコラボ企画として、動物の糞に集まる糞虫についてのコーナーを展開した。

名 称	時 期	内 容
広島県の絶滅のおそれのある昆虫たち	6月3日 ～6月18日	生息域外保全をしているヒョウモンモドキの成虫生体展示に合わせて、県内に生息する絶滅危惧にある昆虫について生態や標本を用いて詳しく解説した。
世界のカブト・クワガタ	7月15日 ～8月27日	世界の生きたカブトムシ・クワガタムシを展示するとともに、標本や模型を用いて生態等を詳しく解説した。
秋の鳴く虫	9月9日 ～9月24日	暗くした会場で、美しい声で鳴く生きた秋の虫を展示解説し、来館者に癒しの空間を提供した。
バッタ展	10月7日 ～11月5日	身近なバッタの生体展示のほか、生態や体のつくりについて標本や映像、パネル等を用いて詳しく解説した。

(ク) 広報普及



名 称	時 期	内 容	件数等
マスコミによる広報	通 年	テレビ局、ラジオ局、新聞社、出版社、市広報紙課などを通じて、昆虫館の展示や催し物などの広報を行った。	新 聞 4件 テレビ 7件 ラジオ 2件 雑誌等 2件 市民と市政 16件 計31件
保育園、幼稚園、小学校、その他の教育施設への学習利用の促進	通 年	保育園、幼稚園、小学校を訪問時に、昆虫館で実施している社会教育活動を紹介した。	56件
ホームページによる広報	通 年	ホームページにより、施設の紹介、催し物、展示昆虫や季節の昆虫などの最新情報を提供した。	アクセス数 64,626件
Facebookによる広報	通 年	Facebookにより、施設の紹介、催し物、展示昆虫や季節の昆虫などの情報を提供した。	投稿件数 203件
X(旧Twitter)による広報	通 年	X(旧Twitter)により、催し物、展示昆虫や季節の昆虫などの情報を提供した。	投稿件数 228件
Instagramによる広報	通 年	Instagramにより、催し物、展示昆虫や季節の昆虫などの情報を提供した。	投稿件数 154件
オリジナルグッズの配布	通 年	各イベントに合わせ、昆虫シールやクリアファイルなど昆虫館オリジナルグッズを配布し、昆虫館をPRした。	昆虫シール 100枚 クリアファイル 100枚
マツダスタジアムにおけるPR活動	6月13日	マツダスタジアム内で3園館共同で「みどり生きものきょうしつ」を開催した。昆虫ふれあい体験とグッズの販売を行い、昆虫館をPRした。	—

名 称	時 期	内 容	件数等
有料の広告媒体による広報	7月	森林公園と共同で、イベントチラシの新聞折込を行った。	100,000枚

(ケ) 出版物の配布



名 称	内 容	配布部数
「標本の作り方」 「飼ってみよう」	身近な昆虫の飼い方や標本の作り方を分かりやすく解説したリーフレットを配布し、昆虫に関する知識の普及や昆虫館事業の周知を図った。	400部 400部
「昆虫館News」	昆虫館の魅力を市民に発信するため、飼育展示の裏話やイベント情報を掲載した冊子を発行、配布した。	3,000部

(コ) 昆虫に関する相談



名 称	時 期	内 容	件数
昆 虫 相 談	通 年	昆虫の飼育方法や生態など昆虫に関する相談等を受けて助言、指導した。	194件

(2) 収益事業等

① 売店の運営など〔収 1 事業〕

ア 安佐動物公園等における売店の運営など

指定管理者として指定された次の施設の利用者の利便を図るため、売店、食堂などの経営を行った。

営 業 場 所	内 容
安 佐 動 物 公 園	売店(2か所)における土産物などの販売 食堂(1か所)における飲食物の販売 喫茶(1か所)における飲食物の販売 自動販売機による清涼飲料水などの販売 ベビーカーの賃貸 コインロッカーの賃貸 電動スクーターの賃貸
植 物 公 園	売店(1か所)における土産物などの販売 売店(1か所)における植物などの販売 食堂(1か所)における飲食物の販売 喫茶(1か所)における飲食物の販売 臨時売店(3か所)における植物などの販売 自動販売機による清涼飲料水などの販売 コインロッカーの賃貸 電動スクーターの賃貸 観光望遠鏡の賃貸
昆 虫 館	売店(1か所)における土産物などの販売 自動販売機による清涼飲料水などの販売 コインロッカーの賃貸
中央公園(ファミリープール)	食堂(1か所)における飲食物の販売 売店(1か所)における飲食物などの販売 自動販売機による清涼飲料水などの販売 浮輪の賃貸

イ 公益目的事業への繰入れ

緑のまちづくり事業、動物公園事業、植物公園事業、昆虫館事業等の推進を図るため、売店の運営等で得た収益を公益目的事業に繰り入れた。

② 公園及び公園施設の管理運営〔他 1 事業〕

広島市から指定管理者として指定（指定期間：令和 4 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日）を受けたファミリープールの入園料などの収受及び管理運営、中央公園の維持管理、並びに安佐動物公園、植物公園の駐車料の収受及び駐車場の管理運営を行い、入園者及び利用者が施設を安全かつ快適に利用できるよう努めた。

ファミリープールの運営では入園者に安心して利用していただける施設であるよう、救急・防犯・感染症対策等の入園者の安全や、落とし物の保管・食品衛生・速やかな迷子案内等のサービス向上に努め、常に満足いただけるように、消防署・警察署・報道機関等の関係機関と連携を密にしながら円滑な運営に取り組んだ。なお、台風接近により 8 月 9 日～10 日を臨時休園した。

ア 中央公園（ファミリープールを含む）の管理運営

（ア）入園料などの収納事務

ファミリープール（利用料金制）

【入園状況】

区 分					入 園 者 数	使 用 料
有 料 入 園 者	個 人	大 人	1 8 歳 以 上 6 5 歳 未 満	790 円	33, 676 人	26, 604, 040 円
			6 5 歳 以 上	340 円	987 人	335, 580 円
		小 人	小・中・高校生及び18歳未満	340 円	37, 592 人	12, 781, 280 円
	団 体	大 人	1 8 歳 以 上 6 5 歳 未 満	650 円	21 人	13, 650 円
			6 5 歳 以 上	270 円	0 人	0 円
		小 人	小・中・高校生及び18歳未満	270 円	108 人	29, 160 円
	小 計				72, 384 人	39, 763, 710 円
減 免 等 入 園 者（ 障 害 者 、 そ の 他 ）					24, 733 人	－円
合 計					97, 117 人	39, 763, 710 円

【コインロッカー利用状況】

区 分	利用回数	使用料
ロッカー利用（100 円）	29,582 回	2,958,200 円

（イ）利用促進



名 称	時 期	内 容	参加者数等
ファミリープール ポイントカードの発行	7月1日 ～8月31日	所定の利用回数に達した場合、次回の入園料を免除するポイントカードを発行し、リピーターの確保を図った。	配布枚数 28,000 枚 利用枚数 726 枚

名 称	時 期	内 容	参加者数等
ファミリープール 休 園 日 の 開 園	8月6日	開園期間中の休園日を開園し、利用者に対するサービスの向上及び入園者の増加を図った。	入園者数 3,396人

(ウ) 施設の維持管理・園内サービス



名 称	時 期	内 容
施 設 の 維 持 管 理	通 年	利用者に安全・快適な利用環境を提供するため、園内の清掃・警備などを行った。また、管理棟などの建物、機械・電気などの設備を良好な状態で利用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。
利 用 案 内	通 年	利用者が快適に施設を利用できるよう、案内標識や園内放送などにより利用案内を行った。
緊 急 時 間 の 対 応	通 年	傷病者の救護、迷子の捜索・保護、拾得物・遺失物の管理などを行った。
ファミリープール入園者への涼感サービスの提供	7月1日 ～8月31日	暑さ対策として、入園ゲート前にミストファンを置き、入園者が涼しさを感じられるサービスを提供した。

イ 安佐動物公園及び植物公園の駐車場の管理運営

(ア) 駐車料の収受（利用料金制）

a 安佐動物公園

【利用状況】

区 分	台 数	使 用 料
中・大型自動車等 (1,400円)	1,030台	1,442,000円
普通自動車等 (450円)	85,832台	38,624,400円
減 免 利 用	2,800台	－円
合 計	89,662台	40,066,400円

b 植物公園

【利用状況】

区 分	台 数	使 用 料
中・大型自動車等 (1,400円)	126台	176,400円
普通自動車等 (450円)	40,723台	18,325,350円
減 免 利 用	1,957台	－円
合 計	42,806台	18,501,750円

(イ) 施設の維持管理



名 称	時 期	内 容
施 設 の 維 持 管 理	通 年	利用者に安心・安全な利用環境を提供するため、駐車場内及び進入路における交通誘導や警備などを行った。また、立体駐車場などの建物や機械・電気などの設備を良好な状態で利用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。

ウ 中央公園（ファミリープールを含む）における教育・普及

(ア) 水泳教室その他催し物の開催



名 称	時 期	内 容	参加者数等
フ ァ ミ リ ー プ ー ル 水 泳 教 室	7月24日 7月31日 8月7日	親子を対象に、泳ぎ方を指導し、習得する場を提供した。また、救助する方法、救助される方法について実技を行った。	29 組 59 人
中 央 公 園 樹 名 板 づ く り	11月26日	中央公園樹木の樹名板の作製を行う子どもを募り、作業を通じて樹木について楽しく学ぶ機会を提供した。また、この手作りの樹名板により公園利用者の関心を引き、樹木への理解や知識を深めた。	48 人 (樹名板30枚設置)

(イ) 広報普及



名 称	時 期	内 容	件 数 等
マスコミによる広報	通 年	テレビ局・出版社などを通じて、催し物などの広報を行った。	テレビ 18 件 雑誌等 6 件
ホームページによる広報	通 年	ホームページにより、施設の紹介や催し物などの情報を提供した。	アクセス件数 112,572 件
X (旧 Twitter) による広報	通 年	X (旧Twitter) により、施設の紹介や施設利用者数などの情報を提供した。	投稿件数 264 件

7 事業報告の附属明細書

記載すべき事項はありません。

決 算 報 告 書

第2 決算報告書

令和5年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会決算報告書 (令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

1 貸借対照表

貸 借 対 照 表

令和6年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	251,641,102	313,297,686	△ 61,656,584
未収金	5,638,007	4,454,909	1,183,098
未収消費税等	1,266,090	0	1,266,090
預け金	6,961	0	6,961
商品	10,139,088	8,380,147	1,758,941
流動資産合計	268,691,248	326,132,742	△ 57,441,494
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	112,000,000	112,000,000	0
基本財産合計	112,000,000	112,000,000	0
(2) 特定資産			
緑化基金積立資産	413,634,328	413,634,328	0
広島市みどり生きもの協会賞基金積立資産	3,000,000	3,000,000	0
退職給付引当資産	38,880,722	37,622,689	1,258,033
減価償却引当資産	28,920,385	27,810,063	1,110,322
備品等購入資金積立資産	1,452,606	1,452,606	0
みどり生きものサポーター募金積立資産	3,821,611	3,031,518	790,093
クロサイ導入・繁殖事業資金積立資産	15,000,000	0	15,000,000
特定資産合計	504,709,652	486,551,204	18,158,448
(3) その他固定資産			
建物	1,490,000	1,490,000	0
建物減価償却累計額	△ 1,489,998	△ 1,489,998	0
構築物	2,764,650	2,764,650	0
構築物減価償却累計額	△ 2,334,580	△ 2,150,271	△ 184,309
車両運搬具	4,283,207	4,283,207	0
車両運搬具減価償却累計額	△ 4,283,202	△ 4,283,202	0
器具備品	27,092,393	27,030,393	62,000
器具備品減価償却累計額	△ 23,889,956	△ 22,958,436	△ 931,520
電話加入権	74,984	74,984	0
投資有価証券	32,084	32,084	0
その他固定資産合計	3,739,582	4,793,411	△ 1,053,829
固定資産合計	620,449,234	603,344,615	17,104,619
資産合計	889,140,482	929,477,357	△ 40,336,875

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	66,336,805	98,370,371	△ 32,033,566
未払消費税等	12,549,690	34,185,600	△ 21,635,910
未払法人税等	221,000	221,000	0
前受金	40,000	46,000	△ 6,000
買掛金	5,194,677	6,928,131	△ 1,733,454
預り金	10,552,104	10,308,482	243,622
賞与引当金	38,981,267	34,418,615	4,562,652
流動負債合計	133,875,543	184,478,199	△ 50,602,656
2. 固定負債			
退職給付引当金	549,577,280	522,025,461	27,551,819
長期預り金	948,150	591,750	356,400
固定負債合計	550,525,430	522,617,211	27,908,219
負債合計	684,400,973	707,095,410	△ 22,694,437
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
広島市出資金	503,600,000	503,600,000	0
寄付金	18,821,611	3,031,518	15,790,093
指定正味財産合計	522,421,611	506,631,518	15,790,093
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)	(100,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(422,421,611)	(406,631,518)	(15,790,093)
2. 一般正味財産	△ 317,682,102	△ 284,249,571	△ 33,432,531
(うち基本財産への充当額)	(12,000,000)	(12,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(43,407,319)	(42,296,997)	(1,110,322)
正味財産合計	204,739,509	222,381,947	△ 17,642,438
負債及び正味財産合計	889,140,482	929,477,357	△ 40,336,875

2 貸借対照表内訳表

貸 借 対 照 表 内 訳 表

令和6年3月31日現在

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引等消去	合 計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	146,324,865	88,717,957	16,598,280		251,641,102
未収金	4,063,159	1,574,848			5,638,007
未収消費税等	481,829	1,266,090	1,422,461	△ 1,904,290	1,266,090
預け金	6,961				6,961
商品		10,139,088			10,139,088
他会計短期貸付金		10,000,000	5,000,000	△ 15,000,000	0
流動資産合計	150,876,814	111,697,983	23,020,741	△ 16,904,290	268,691,248
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
投資有価証券	112,000,000				112,000,000
基本財産合計	112,000,000				112,000,000
(2) 特定資産					
緑化基金積立資産	413,634,328				413,634,328
広島市みどり生きもの協会賞基金積立資産	3,000,000				3,000,000
退職給付引当資産		38,880,722			38,880,722
減価償却引当資産	1,703,309	27,217,076			28,920,385
備品等購入資金積立資産		1,452,606			1,452,606
みどり生きものサポーター募金積立資産	3,821,611				3,821,611
クロサイ導入・繁殖事業資金積立資産	15,000,000				15,000,000
特定資産合計	437,159,248	67,550,404			504,709,652
(3) その他固定資産					
建物		1,490,000			1,490,000
建物減価償却累計額		△ 1,489,998			△ 1,489,998
構築物		2,764,650			2,764,650
構築物減価償却累計額		△ 2,334,580			△ 2,334,580
車両運搬具	1,703,310	2,579,897			4,283,207
車両運搬具減価償却累計額	△ 1,703,309	△ 2,579,893			△ 4,283,202
器具備品	3,983,420	23,108,973			27,092,393
器具備品減価償却累計額	△ 3,077,351	△ 20,812,605			△ 23,889,956
電話加入権		74,984			74,984
投資有価証券	32,084				32,084
その他固定資産合計	938,154	2,801,428			3,739,582
固定資産合計	550,097,402	70,351,832			620,449,234
資産合計	700,974,216	182,049,815	23,020,741	△ 16,904,290	889,140,482
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	49,680,148	8,494,203	8,162,454		66,336,805
未払消費税等	11,976,000	2,477,980		△ 1,904,290	12,549,690
未払法人税等		221,000			221,000
前受金	40,000				40,000
買掛金		5,194,677			5,194,677
預り金	1,865,243	1,619,074	7,067,787		10,552,104
他会計短期借入金	10,000,000	5,000,000		△ 15,000,000	0
貸与引当金	32,977,864	3,169,343	2,834,060		38,981,267
流動負債合計	106,539,255	26,176,277	18,064,301	△ 16,904,290	133,875,543
2. 固定負債					
退職給付引当金	454,809,869	38,880,722	55,886,689		549,577,280
長期預り金	438,000	510,150			948,150
固定負債合計	455,247,869	39,390,872	55,886,689		550,525,430
負債合計	561,787,124	65,567,149	73,950,990	△ 16,904,290	684,400,973
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産					
広島市出資金	503,600,000				503,600,000
寄付金	18,821,611				18,821,611
指定正味財産合計	522,421,611				522,421,611
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)				(100,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(422,421,611)				(422,421,611)
2. 一般正味財産	△ 383,234,519	116,482,666	△ 50,930,249		△ 317,682,102
(うち基本財産への充当額)	(12,000,000)				(12,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(14,737,637)	(28,669,682)			(43,407,319)
正味財産合計	139,187,092	116,482,666	△ 50,930,249		204,739,509
負債及び正味財産合計	700,974,216	182,049,815	23,020,741	△ 16,904,290	889,140,482

3 正味財産増減計算書

正 味 財 産 増 減 計 算 書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	136,712	119,018	17,694
基本財産受取利息振替額	1,139,272	991,799	147,473
特定資産運用益			
緑化基金受取利息	125,710	109,177	16,533
緑化基金受取利息振替額	3,906,162	3,677,705	228,457
協会賞基金受取利息	22,786	19,837	2,949
協会賞基金受取利息振替額	11,392	9,918	1,474
受取会費			
会員受取会費	449,500	446,000	3,500
事業収益			
利用料金収益	224,774,450	237,136,090	△ 12,361,640
指定管理料収益	1,140,415,907	1,162,724,225	△ 22,308,318
維持補修業務等受託収益	1,898,995	919,816	979,179
保護増殖業務受託収益	183,700	159,000	24,700
生息調査業務受託収益	181,535	0	181,535
保護動物管理料収益	256,901	348,906	△ 92,005
売店等売上収益	135,512,129	142,066,142	△ 6,554,013
売店等事業収益	26,039,571	15,546,710	10,492,861
実費徴収金収益	3,345,948	3,139,391	206,557
手数料収益	48,039	49,708	△ 1,669
使用料収益	2,515,250	2,721,725	△ 206,475
受取補助金等			
受取協会運営等補助金	85,103,275	93,033,911	△ 7,930,636
受取動物保護活動等助成金	0	365,000	△ 365,000
受取負担金			
受取負担金	1,162,000	431,150	730,850
受取寄付金			
受取寄付金	410,230	964,000	△ 553,770
受取協賛金			
受取協賛金	1,000,000	1,000,000	0
雑収益			
受取利息	366	55	311
雑収益	2,487,435	2,231,472	255,963
固定負債取崩益			
退職給付引当金取崩益	0	9,086,497	△ 9,086,497
経常収益計	1,631,127,265	1,677,297,252	△ 46,169,987

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
(2) 経常費用			
事業費			
給料	257,858,786	245,621,100	12,237,686
諸手当	197,981,183	189,674,454	8,306,729
報酬	98,657,417	114,357,150	△ 15,699,733
賞与引当金繰入額	36,147,207	31,852,159	4,295,048
賃金	85,847,270	82,496,313	3,350,957
退職給付費用	25,749,137	23,814,362	1,934,775
福利厚生費	108,261,908	105,423,594	2,838,314
仕入費	61,788,052	64,305,701	△ 2,517,649
食糧費	137,200	101,316	35,884
諸謝金	3,604,070	3,544,570	59,500
諸会費	1,044,298	859,215	185,083
報償費	434,815	448,851	△ 14,036
旅費	3,231,326	2,531,897	699,429
通信運搬費	2,097,633	2,018,836	78,797
減価償却費	1,313,628	1,356,902	△ 43,274
消耗什器備品費	163,300	0	163,300
消耗品費	104,555,504	101,631,897	2,923,607
器具備品購入費	223,925	7,234,280	△ 7,010,355
原材料費	963,238	912,268	50,970
委託料	231,980,201	241,356,877	△ 9,376,676
修繕費	39,052,818	37,099,708	1,953,110
燃料費	35,945,371	33,053,817	2,891,554
光熱水費	179,906,079	181,662,910	△ 1,756,831
支払手数料	1,890,256	1,525,671	364,585
使用料及び賃借料	13,474,380	13,792,618	△ 318,238
保険料	2,112,235	2,171,117	△ 58,882
租税公課	75,807,300	77,376,500	△ 1,569,200
支払負担金	1,707,008	1,386,600	320,408
支払補助金	968,800	814,900	153,900
支払協賛金	0	20,000	△ 20,000
広報費	2,876,081	2,039,849	836,232
雑費	309,113	159,741	149,372
固定資産除却損	1	0	1
棚卸減耗損	17,601	14,176	3,425
棚卸資産廃棄損	73,279	37,085	36,194

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
管理費			
給料	15,057,272	16,966,800	△ 1,909,528
諸手当	8,308,662	10,355,439	△ 2,046,777
報酬	22,676,211	14,577,785	8,098,426
賞与引当金繰入額	2,834,060	2,566,456	267,604
賃金	5,631,170	5,112,408	518,762
退職給付費用	8,749,976	22,632,737	△ 13,882,761
福利厚生費	8,223,736	8,244,018	△ 20,282
会議費	63,166	68,332	△ 5,166
諸謝金	418,000	440,000	△ 22,000
諸会費	255,100	203,480	51,620
報償費	2,024	4,048	△ 2,024
旅費	0	48,160	△ 48,160
通信運搬費	933,730	872,242	61,488
消耗品費	897,756	897,432	324
委託料	228,187	285,536	△ 57,349
支払手数料	87,973	110,867	△ 22,894
使用料及び賃借料	12,967,693	11,763,013	1,204,680
支払負担金	783,660	723,062	60,598
支払協賛金	40,000	40,000	0
雑費	0	100,726	△ 100,726
経常費用計	1,664,338,796	1,666,708,975	△ 2,370,179
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 33,211,531	10,588,277	△ 43,799,808
当期経常増減額	△ 33,211,531	10,588,277	△ 43,799,808
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
過年度修正益			
過年度売店等事業収益修正益	4,329,961	0	4,329,961
経常外収益計	4,329,961	0	4,329,961
(2) 経常外費用			
過年度修正損			
過年度売店等事業収益修正損	4,329,961	0	4,329,961
経常外費用計	4,329,961	0	4,329,961
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 33,211,531	10,588,277	△ 43,799,808
法人税、住民税及び事業税	221,000	221,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 33,432,531	10,367,277	△ 43,799,808
一般正味財産期首残高	△ 284,249,571	△ 294,616,848	10,367,277
一般正味財産期末残高	△ 317,682,102	△ 284,249,571	△ 33,432,531

(単位:円)

科	目	当 年 度	前 年 度	増 減
Ⅱ	指定正味財産増減の部			
	基本財産運用益			
	基本財産受取利息	1,139,272	991,799	147,473
	特定資産運用益			
	緑化基金受取利息	3,906,162	3,677,705	228,457
	協会賞基金受取利息	11,392	9,918	1,474
	受取寄付金			
	受取寄付金	15,790,093	1,017,799	14,772,294
	一般正味財産への振替額			
	一般正味財産への振替額	△ 5,056,826	△ 4,679,422	△ 377,404
	当期指定正味財産増減額	15,790,093	1,017,799	14,772,294
	指定正味財産期首残高	506,631,518	505,613,719	1,017,799
	指定正味財産期末残高	522,421,611	506,631,518	15,790,093
Ⅲ	正味財産期末残高	204,739,509	222,381,947	△ 17,642,438

4 正味財産増減計算書内訳表

正味財産増減計算書内訳表
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引等消去	合 計
	公1 (緑のまちづくり)	公2 (動物・植物・昆虫)	共通 (事業運営)	公益計	収1 (売店の運営など)	他1 (公園・公園施設)	収益等計			
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益										
基本財産受取利息		136,712		136,712						136,712
基本財産受取利息振替額	113,928	1,025,344		1,139,272						1,139,272
特定資産運用益										
緑化基金受取利息	125,710			125,710						125,710
緑化基金受取利息振替額	3,906,162			3,906,162						3,906,162
協会賞基金受取利息	22,786			22,786						22,786
協会賞基金受取利息振替額	11,392			11,392						11,392
受取会費										
会員受取会費		449,500		449,500						449,500
事業収益										
利用料金収益		123,484,970		123,484,970		101,289,480	101,289,480			224,774,450
指定管理料収益		1,042,292,000		1,042,292,000		98,123,907	98,123,907			1,140,415,907
維持補修業務等受託収益		1,898,995		1,898,995						1,898,995
保護増殖業務受託収益		183,700		183,700						183,700
生息調査業務受託収益		181,535		181,535						181,535
保護動物管理料収益		256,901		256,901						256,901
売店等売上収益					135,512,129		135,512,129			135,512,129
売店等事業収益					25,926,958	112,613	26,039,571			26,039,571
実費徴収金収益					3,345,948		3,345,948			3,345,948
手数料収益					48,039		48,039			48,039
使用料収益					2,515,250		2,515,250			2,515,250
受取補助金等										
受取協会運営等補助金								85,103,275		85,103,275
受取負担金										
受取負担金	240,000	922,000		1,162,000						1,162,000
受取寄付金										
受取寄付金		410,230		410,230						410,230
受取協賛金										
受取協賛金		1,000,000		1,000,000						1,000,000
雑収益										
受取利息	366			366						366
雑収益	154,370	1,379,613	15,780	1,549,763	120,837	216,720	337,557	2,504,405	△ 1,904,290	2,487,435
経常収益計	4,574,714	1,173,621,500	15,780	1,178,211,994	167,469,161	199,742,720	367,211,881	87,607,680	△ 1,904,290	1,631,127,265

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引等消去	合 計
	公1 (緑のまちづくり)	公2 (動物・植物・昆虫)	共通 (事業運営)	公益計	収1 (売店の運営など)	他1 (公園・公園施設)	収益等計			
(2) 経常費用										
事業費										
給料		245,160,386		245,160,386	12,698,400		12,698,400			257,858,786
諸手当		183,585,269	6,552,861	190,138,130	6,914,737	928,316	7,843,053			197,981,183
報酬	2,098,088	77,363,644		79,461,732	14,693,075	4,502,610	19,195,685			98,657,417
賞与引当金繰入額		32,311,190	666,674	32,977,864	2,534,452	634,891	3,169,343			36,147,207
賃金		62,547,945		62,547,945	14,587,480	8,711,845	23,299,325			85,847,270
退職給付費用		24,275,104		24,275,104	1,474,033		1,474,033			25,749,137
福利厚生費	332,988	95,409,186	3,209,138	98,951,312	6,322,958	2,987,638	9,310,596			108,261,908
仕入費					61,788,052		61,788,052			61,788,052
食糧費		137,200		137,200						137,200
諸謝金	618,450	2,960,820		3,579,270		24,800	24,800			3,604,070
諸会費		983,198	1,100	984,298	60,000		60,000			1,044,298
報償費	60,000	374,815		434,815						434,815
旅費		3,133,166		3,133,166	98,160		98,160			3,231,326
通信運搬費	73,920	1,909,847		1,983,767	44,020	69,846	113,866			2,097,633
減価償却費		5,507		5,507	1,308,121		1,308,121			1,313,628
消耗什器備品費		69,800		69,800	93,500		93,500			163,300
消耗品費	1,282,834	100,343,867	26,000	101,652,701	1,117,863	1,784,940	2,902,803			104,555,504
器具備品購入費		223,925		223,925						223,925
原材料費		963,238		963,238						963,238
委託料		121,482,330		121,482,330	1,860,991	108,636,880	110,497,871			231,980,201
修繕費		31,764,373	36,850	31,801,223	1,489,398	5,762,197	7,251,595			39,052,818
燃料費		35,873,117	19,853	35,892,970		52,401	52,401			35,945,371
光熱水費		135,331,188		135,331,188	7,268,649	37,306,242	44,574,891			179,906,079
支払手数料	32,113	1,299,169		1,331,282	298,466	260,508	558,974			1,890,256
使用料及び賃借料		9,345,311		9,345,311	3,204,519	924,550	4,129,069			13,474,380
保険料		976,301	14,670	990,971	281,704	839,560	1,121,264			2,112,235
租税公課		65,381,740	39,700	65,421,440	8,104,526	4,185,624	12,290,150		△ 1,904,290	75,807,300
支払負担金	1,100,000	570,360		1,670,360	36,648		36,648			1,707,008
支払補助金	968,800			968,800						968,800
広報費		2,837,049		2,837,049	39,032		39,032			2,876,081
雑費		157,342		157,342	151,771		151,771			309,113
固定資産除却損				0	1		1			1
棚卸減耗損					17,601		17,601			17,601
棚卸資産廃棄損					73,279		73,279			73,279

(単位:円)

科 目	公 益 目 的 事 業 会 計				収 益 事 業 等 会 計			法人会計	内部取引等消去	合 計
	公1 (緑のまちづくり)	公2 (動物・植物・昆虫)	共通 (事業運営)	公益計	収1 (売店の運営など)	他1 (公園・公園施設)	収益等計			
管理費										
給料								15,057,272		15,057,272
諸手当								8,308,662		8,308,662
報酬								22,676,211		22,676,211
賞与引当金繰入額								2,834,060		2,834,060
賃金								5,631,170		5,631,170
退職給付費用								8,749,976		8,749,976
福利厚生費								8,223,736		8,223,736
会議費								63,166		63,166
諸謝金								418,000		418,000
諸会費								255,100		255,100
報償費								2,024		2,024
通信運搬費								933,730		933,730
消耗品費								897,756		897,756
委託料								228,187		228,187
支払手数料								87,973		87,973
使用料及び賃借料								12,967,693		12,967,693
支払負担金								783,660		783,660
支払協賛金								40,000		40,000
経常費用計	6,567,193	1,236,776,387	10,566,846	1,253,910,426	146,561,436	177,612,848	324,174,284	88,158,376	△ 1,904,290	1,664,338,796
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,992,479	△ 63,154,887	△ 10,551,066	△ 75,698,432	20,907,725	22,129,872	43,037,597	△ 550,696		△ 33,211,531
当期経常増減額	△ 1,992,479	△ 63,154,887	△ 10,551,066	△ 75,698,432	20,907,725	22,129,872	43,037,597	△ 550,696		△ 33,211,531
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
過年度修正益										
過年度売店等事業収益修正益						4,329,961	4,329,961			4,329,961
経常外収益計	0	0	0	0	0	4,329,961	4,329,961	0		4,329,961
(2) 経常外費用										
過年度修正損										
過年度売店等事業収益修正損					4,329,961		4,329,961			4,329,961
経常外費用計	0	0	0	0	4,329,961	0	4,329,961	0		4,329,961
当期経常外増減額					△ 4,329,961	4,329,961	0			0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 1,992,479	△ 63,154,887	△ 10,551,066	△ 75,698,432	16,577,764	26,459,833	43,037,597	△ 550,696		△ 33,211,531
他会計振替額	1,171,800	34,298,110	10,528,273	45,998,183	△ 13,694,983	△ 32,303,200	△ 45,998,183	0		0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 820,679	△ 28,856,777	△ 22,793	△ 29,700,249	2,882,781	△ 5,843,367	△ 2,960,586	△ 550,696		△ 33,211,531
法人税、住民税及び事業税					221,000		221,000			221,000
当期一般正味財産増減額	△ 820,679	△ 28,856,777	△ 22,793	△ 29,700,249	2,661,781	△ 5,843,367	△ 3,181,586	△ 550,696		△ 33,432,531
一般正味財産期首残高	63,801,643	△ 419,345,377	2,009,464	△ 353,534,270	117,899,733	1,764,519	119,664,252	△ 50,379,553		△ 284,249,571
一般正味財産期末残高	62,980,964	△ 448,202,154	1,986,671	△ 383,234,519	120,561,514	△ 4,078,848	116,482,666	△ 50,930,249		△ 317,682,102

(単位:円)

科 目	公 益 目 的 事 業 会 計				収 益 事 業 等 会 計			法人会計	内部取引等消去	合 計
	公1 (緑のまちづくり)	公2 (動物・植物・昆虫)	共通 (事業運営)	公益計	収1 (売店の運営など)	他1 (公園・公園施設)	収益等計			
II 指定正味財産増減の部										
基本財産運用益										
基本財産受取利息	113,928	1,025,344		1,139,272						1,139,272
特定資産運用益										
緑化基金受取利息	3,906,162			3,906,162						3,906,162
協会賞基金受取利息	11,392			11,392						11,392
受取寄付金										
受取寄付金		15,790,093		15,790,093						15,790,093
一般正味財産への振替額										
一般正味財産への振替額	△ 4,031,482	△ 1,025,344		△ 5,056,826						△ 5,056,826
当期指定正味財産増減額		15,790,093		15,790,093						15,790,093
指定正味財産期首残高	413,600,000	93,031,518		506,631,518						506,631,518
指定正味財産期末残高	413,600,000	108,821,611		522,421,611						522,421,611
III 正味財産期末残高	476,580,964	△ 339,380,543	1,986,671	139,187,092	120,561,514	△ 4,078,848	116,482,666	△ 50,930,249		204,739,509

5 財務諸表に対する注記

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券・・・取得価格による原価法によっている。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
商品・・・・・・・・・・先入先出法による原価法によっている。（時価が取得価額よりも下落した場合には、時価をもって貸借対照表価額とする。）
- (3) 固定資産の減価償却の方法
定額法によっている。
- (4) 引当金の計上基準
貸倒引当金・・・・・・・・債権については回収可能性に問題がないため、貸倒引当金は計上していない。
賞与引当金・・・・・・・・職員の賞与の支払いに備えて、賞与支給見込額の当事業年度負担額を計上している。
退職給付引当金・・・・・・職員の退職給付に備えるため、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理
税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	112,000,000	—	—	112,000,000
小 計	112,000,000	—	—	112,000,000
特定資産				
緑化基金積立資産	413,634,328	—	—	413,634,328
広島市みどり生きもの協会賞基金積立資産	3,000,000	—	—	3,000,000
退職給付引当資産	37,622,689	1,258,033	—	38,880,722
減価償却引当資産	27,810,063	1,308,121	197,799	28,920,385
備品等購入資金積立資産	1,452,606	—	—	1,452,606
みどり生きものサポーター募金積立資産	3,031,518	790,093	—	3,821,611
クロサイ導入・繁殖事業資金積立資産	—	15,000,000	—	15,000,000
小 計	486,551,204	18,356,247	197,799	504,709,652
合 計	598,551,204	18,356,247	197,799	616,709,652

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	112,000,000	(100,000,000)	(12,000,000)	(—)
小 計	112,000,000	(100,000,000)	(12,000,000)	(—)
特定資産				
緑化基金積立資産	413,634,328	(402,600,000)	(11,034,328)	(—)
広島市みどり生きもの協会賞基金積立資産	3,000,000	(1,000,000)	(2,000,000)	(—)
退職給付引当資産	38,880,722	(—)	(—)	(38,880,722)
減価償却引当資産	28,920,385	(0)	(28,920,385)	(—)
備品等購入資金積立資産	1,452,606	(0)	(1,452,606)	(—)
みどり生きものサポーター募金積立資産	3,821,611	(3,821,611)	(0)	(—)
クロサイ導入・繁殖事業資金積立資産	15,000,000	(15,000,000)	(0)	(—)
小 計	504,709,652	(422,421,611)	(43,407,319)	(38,880,722)
合 計	616,709,652	(522,421,611)	(55,407,319)	(38,880,722)

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
第182回利付国債	328,666,412	324,196,960	△ 4,469,452
第483回大阪府公募公債 (SMB)	100,000,000	100,690,000	690,000
第483回大阪府公募公債 (岡三)	100,000,000	100,680,000	680,000
合 計	528,666,412	525,566,960	△ 3,099,452

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の 名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
補助金 受取協会運営等補助金 (広島市補助金)	広島市	0	85,103,275	85,103,275	0	—
合 計		0	85,103,275	85,103,275	0	

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息の振替額	1,139,272
特定資産受取利息の振替額	3,917,554
合 計	5,056,826

7. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引内容は、次のとおりである。

(単位：円)

属 性	法 人 等 の 名 称	住 所	資 産 総 額	事 業 の 内 容 又 は 職 業	議 決 権 の 所 有 割 合	関 係 内 容		取引の内容	取引金額	科目	期末 残高
						役員の兼務等	事業上の関係				
当 法 人 を 支 配 す る 法 人	広 島 市	広 島 市 中 区	—	—	—	理事14名中 市職員2名 元市職員2名	市公共事業の受託	広島市の公園及び公園施設の指定管理	1,140,415,907	—	0
								広島市の公園及び公園施設の維持補修等	2,080,530	—	0
							協会事業に対する補助	協会運営事業に対する補助	85,103,275	—	0

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

剰余金が生じた場合において、指定管理については指定管理期間満了時に精算を行い返還することとし、受託及び補助については毎年度精算を行い返還することとしている。

6 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記の「2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」において記載しているため省略する。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	34,418,615	38,981,267	34,418,615	—	38,981,267
退職給付引当金	522,025,461	34,043,113	6,491,294	—	549,577,280

財 産 目 録

令和6年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)					
	現金	手元保管	運転資金として	17,791,267	
	預金	普通預金	運転資金として		
		広島銀行本店営業部		85,273,626	
		広島銀行安支店		55,951,354	
		広島銀行五日市八幡支店		66,274,370	
		広島銀行福田支店		26,166,717	
		ゆうちょ銀行日浦郵便局		183,768	
	未収金	売店業務等委託先業者ほか	販売手数料等	5,638,007	
未収消費税等	広島東税務署	令和5年度消費税及び地方消費税の未収額	1,266,090		
預け金	プリペードカード	車両の給油資金	6,961		
商品	オリジナルグッズ他	来園者等への販売用	10,139,088		
流動資産合計				268,691,248	
(固定資産)					
基本財産	投資有価証券	第182回利付国債	公益目的保有財産であり、満期保有目的で保有し、運用益のうち91.1%は動物公園等の運営事業、8.9%は緑のまちづくり事業の財源として使用している。	112,000,000	
特定資産	緑化基金積立資産	投資有価証券			
		第182回利付国債	公益目的保有財産であり、満期保有目的で保有し、運用益を緑のまちづくり事業の財源として使用している。	213,634,328	
		第483回大阪府公募公債	同上	200,000,000	
	広島市みどり生きもの協会賞基金積立資産	投資有価証券			
		第182回利付国債	公益目的保有財産であり、満期保有目的で保有し、運用益を緑のまちづくり事業の財源として使用している。	3,000,000	
	退職給付引当資産	普通預金			
		広島銀行本店営業部	収益事業従事職員に対する退職金の支払いに備え管理している預金	37,622,689	
	減価償却引当資産	広島銀行安支店	同上	1,258,033	
		普通預金			
		広島銀行本店営業部	器具備品等の更新に備え管理している預金	27,747,534	
	備品等購入資金積立資産	広島銀行安支店	同上	644,690	
		広島銀行五日市八幡支店	同上	528,161	
		普通預金			
		広島銀行本店営業部	器具備品等の取得に備え管理している預金	1,452,606	
		みどり生きものサポーター募金積立資産	普通預金		
		広島銀行安支店	魅力ある施設づくりのための寄付金を管理している預金	3,406,230	
広島銀行五日市八幡支店		同上	142,166		
クロサイ導入・繁殖事業資金積立資産	広島銀行福田支店	同上	273,215		
	普通預金				
	広島銀行安支店	クロサイ導入・繁殖のための特定費用準備資金を管理している預金	15,000,000		
その他固定資産	建物	植物公園 温室及び倉庫 62.3㎡	収益事業における販売用植物の展示・保管用	2	
	構築物	安佐動物公園 仮設売店 9.7㎡	収益事業における飲食物販売用	430,070	
	車両運搬具	普通乗用車1台	公益目的保有財産であり、公益目的事業共通の用に供している。	1	
		小型貨物等2台、スクーター2台	収益事業用車両運搬具	4	
	器具備品	デジタルカメラ等21点	公益目的保有財産であり、動物公園等の運営事業の用に供している。	906,069	
		冷蔵庫等83点	収益事業用器具備品	2,296,368	
	電話加入権	安佐動物公園 管理事務所	収益事業に係る電話回線(1回線)	74,984	
	投資有価証券	第182回利付国債	満期保有目的で保有し、運用益を緑のまちづくり事業等の財源として使用している。	32,084	
固定資産合計				620,449,234	
資産合計				889,140,482	

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動負債)	未払金	維持管理業務等委託先業者ほか	委託料等の未払額	66,336,805
	未払消費税等	広島東税務署	令和５年度消費税及び地方消費税の未払額	12,549,690
	未払法人税等	広島東税務署	令和５年度法人税等の未払額	221,000
	前受金	広島動物愛好会等会員	令和６年度分前受会費	40,000
	買掛金	商品仕入先業者	売店等における商品仕入れの買掛額	5,194,677
	預り金	広島東税務署、厚生労働省年金局、広島市等	源泉所得税、健康保険料及び厚生年金保険料、住民税等	10,552,104
	賞与引当金	職員に対するもの	職員１１５名に対する賞与の支払いに備えたもの	38,981,267
流動負債合計				133,875,543
(固定負債)	退職給付引当金	職員に対するもの	職員７０名に対する退職金の支払いに備えたもの	549,577,280
	長期預り金	維持管理業務等委託先業者	契約保証金	948,150
固定負債合計				550,525,430
負債合計				684,400,973
正味財産				204,739,509

監 査 報 告 書

令和6年5月16日

公益財団法人広島市みどり生きもの協会
理 事 長 荒 瀬 尚 美 様

公益財団法人広島市みどり生きもの協会

監 事 神 田 敏 治

公益財団法人広島市みどり生きもの協会

監 事 田 口 依久夫

私たち監事は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実
は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

